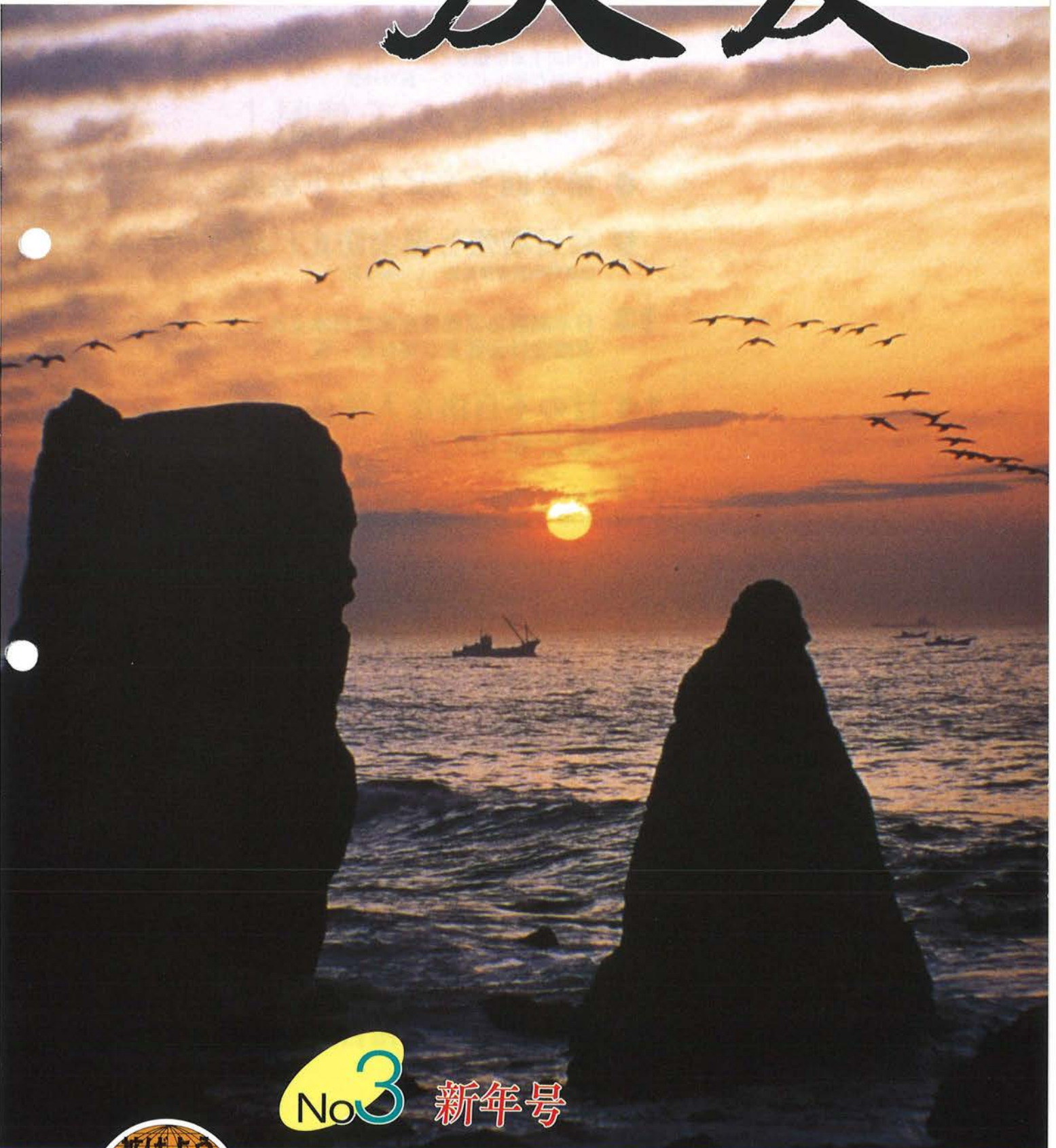




*We Serve*

# 友愛



No. 3

新年号

掲げよう

価値ある奉仕とL字の仲間

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 地区ニュース 1995年1月20日発行(1994-1995)

# C O N T E N T S

## 友愛 NO.3

### 3 新春のご挨拶

333-C地区ガバナー L 江畑耕作

### 4 沼田武千葉県知事と

江畑耕作地区ガバナー新春対談

## 「21世紀の千葉県」

### 8 第2回キャビネット会議

### 9 会員増強と退会防止に思う

地区特別運営委員長 L 川崎忠男

### 13 日本網膜色素変性症協会日本支部 支援会員会費及び寄付金一覧

### 14 目の不自由な人達に 愛と希望の光を

### 15 市原LC結成30周年記念

市原コスモス認証状伝達式

八千代LC・CN

25周年記念式典挙行

### 16 福祉チャリティ・講演とコンサート

### 17 LIONS CLUB 活動レポート

習志野LC/千葉エコーLC/千葉京葉LSC/佐原LC/館山中央LC

9R1Z合同/館山LC・館山北LC/房州白浜LC/3R1Z/

柏グリーンLC/3R合同/山田町LC

### 23 YE生派遣報告 [2]

### 1994夏期派遣・来日生

小川 廣/川野 武/磯貝さつき/抜木秀太郎/小松原学/日下部学/松森奈津子  
下福文野/磯野優子/吉井亜希子/谷田恵美

Larsson MAGNUS/Kdriya SRAJ/Krzysztof KOTLICKI/Eva VIDA/杜宜真

Jarrid KOLODNICKI/Stuart WILSON/Buecheli Sandra PASCALE/

Gaetane GHYS/Nicolas DEFOSSEZ/Cigdem SERDAROGLU/

八千代東ライオンズクラブ/野田ライオンズクラブ/東南アジアフォーラム

### 39 マレーシア・シンガポール

### LC交流訪問報告/編集後記



表紙：「犬吠の夜明け」  
撮影：三浦和夫 飯岡町LC



地区ガバナー L. 江畑耕作

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます

アメリカ・アリゾナ州・フェニックス市で開催された第77回国際大会において、ガバナーに任命されて以来早くも6ヶ月が過ぎ、任期半ばにして新年を迎えました。年頭のお喜びを申しあげると共に、昨年中の御厚情に感謝申しあげ、本年も変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願いする次第です。

地区ガバナーとしての最大の任務であるクラブ公式訪問に際しては、メンバー各位から貴重な御提言や御示唆をいただき、自ら学ぶ所が多かったと共に、改めてライオニズムの崇高さを感得した次第です。また、懇親会では身

に余る御歓待と御激励をいただき、感謝と感激の忘れ難い日々でありました。唯、スケジュールや会場の関係上、お一人お一人と充分お話し出来なかったことが残念であり、失礼のあったことをお詫びいたします。

本年度のガバナーズスローガンとして「拡げよう価値ある奉仕とL字の仲間」を掲げましたが、市原LCのエクステンションによって市原コスモスLCが早くも誕生し、来る2月25日には松戸LCをスポンサーとして松戸グリーンLCが結成されます。このほか、3つ程の新クラブ誕生の朗報があり、地区ガバナーとして感謝と歓喜に堪えな

い所であります。また、昨年11月3日に開催された「価値ある奉仕を考える」をテーマとした「会長フォーラム」では、それぞれのクラブが、その地域に密着した特色ある奉仕活動を展開されておられることに感動した次第です。フォーラムでの成果が更なる「価値ある奉仕」となって表われることを期待しております。

下半期に残された大きな事業は、第41回年次大会、第3、4回キャビネット会議および新クラブの結成式並びに認証状伝達式であります。これらの行事が成功裡に終わるよう、関係各位の御協力と御尽力を紙上を借りてお願いする次第です。猶、3月21日にはワンダー国際第1副会長の公式訪問が当地区の浦安市「東京ベイヒルトンホテル」で行われることになっております。この件については、浦安地区のクラブの労を煩わすことになるとは思いますが、宜しく願い申し上げます。

新春に際し、千葉県知事との対談記事を掲載させていただきましたが、地区ニュースはPR情報委員会及び地区ニュース編集委員の御努力と、原稿執筆ライオンの御協力によって、対内的にも対外的にもP、R、及びパブリシティ活動の効果を十分に発揮いたしております。関係各位に深く感謝申しあげると共に、メンバー各位の御愛読をお願いして挨拶といたします。

来る年も 廻る地球の暗黒に  
 ライオニズムの 光掲げん  
 M・ジョーンズの  
 生まれしアリゾナの彼の大地  
 われは立ちたり 首都フェニックス  
 全世界 結ぶライオンパレードに  
 フェニックスの街とよめきにけり  
 四十五度の 乾ける熱氣呼吸する  
 鳥も木の葉も 体形細し  
 風雨なき 熱照のなかアリゾナの  
 砂漠を守る サボテンの群  
 日の落ちし 遠き砂漠に熔岩の  
 山ひかりつつ 地平を限る

新春録 江畑耕作

# 沼田県知事と江畑ガバナー 新春対談 『21世紀の千葉県』



## 『21世紀を展望した千葉県とライオンズクラブの活動と役割について』

千葉県では、平成3年4月に『さわやかハートちば5か年計画』がスタートし、未来型の国際情報都市幕張新都心、アカデミアパーク、東京湾横断道路など、さまざまなビックプロジェクトが順調に推移し、21世紀に向けて着々と進んでいます。

ライオンズクラブ333-C地区では、千葉県の事業推進とともにどのような活動と役割を果たしていくのかを探るため、沼田武千葉県知事と江畑ガバナーの新春対談を企画いたしました。ガバナーズ方針10項目、

- (1)クラブ運営とACTの活性化 (2)新クラブのエクステーション (3)女性会員の積極的な招請
- (4)広報活動の充実と展開 (5)献眼、献血、献腎及び骨髄バンク登録運動の継続的な促進
- (6)YE活動と青少年健全育成ACT充実(7)LCIFへの継続的協力 (8)環境保全運動とその合同ACT充実
- (9)薬物乱用防止と糖尿病教室の推進 (10)国際交流と大会参加の促進 等を示し、

長期スパンの中で千葉県の推進事業についてできるだけ協力していくことといたしました。

## 千葉県のビックプロジェクトの状況

**江畑ガバナ―**「千葉県では、幕張新都心、かずさアカデミアパーク、東京湾横断道路などの大規模プロジェクトが進行中ですが、これらの状況はいかがですか。」

**沼田県知事**「現在、千葉県で、さまざまなビックプロジェクトが各地域で着実な展開を見せています。これらのプロジェクトの大きな柱となるのが、「幕張、かずさ、成田」からなる千葉新産業三角構想ですが、その一角「かずさアカデミアパーク」では、DNAを専門に研究し、その成果に大きな期待がかけられている「かずさDNA研究所」が10月26日に開所し、研究交流や地域の文化活動の場となる「かずさアカデミアセンター」の建設も始まっています。「かずさアカデミアパーク」は、君津・木更津の丘陵地帯1千ヘクタールに先端技術の国際的水準の研究開発拠点の集積を図ろうとするもので、10年ごとの3期に別けて30年がかりで整備を進めています。」

一方、幕張メッセの存在によって、一般の方にも広く知られている幕張新都心では、業務研究地区の整備が進み、既に就業者数も3万2千人を超えております。また、住宅地区での建設も進んでおり、第1期の入居の募集には、平均で約50倍という大変多くの申し込みがあったと聞いています。幕張新都心の目指す「職・住・学・遊」といった複合的な機能を備えた未来都市が全容を現す日が、もうすぐそこまで来ているわけです。

さらに、成田国際空港都市構想に関しても、成田空港円卓会議が円満に終了し、空港と地域との共生を目指す新しい時代を迎える中で、臨空工業団地の整備に国際空港物流複合基地の事業着手も間近となっています。また、東京湾横断道路も、橋りょう部に全ての橋げたを架け終え、海底トンネルの工事が本格化するなど、平成9年春の完成に向けて工事が順調に進められています。」

## “さわやかハート千葉5か年計画”の進捗状況について

**江畑ガバナ―**「千葉県の推進する「さわやかハートちば5か年計画」は4年目を迎えていますが、この計画の進捗状況などについてお聞かせください。」

**沼田県知事**「現在、県では、さきほど申し上げた各種のプロジェクトを含む「さわやかハートちば5か年計画」の推進に取り組んでいます。」

この5か年計画は、県政の長期ビジョン「2000年の千葉県」に基づく第2期の総合計画となるものであり、豊かさを実感できるふるさと千葉県の実現を大きな目標としています。平成3年度にスタートさせた同5か年計画に基づいて、これまで福祉、医療、教育の充実や、県民文化の創造をはじめ、豊かな環境の保全、様々な産業の振興、各種交通網の整備等、きめ細かい施策の展開を図ってきたわけですが、おかげさまで、本年度末まで約90%の進捗を見込まれており、全体的に順調な進展を見せています。」

またさらに、「さわやかハートちば5か年計画」の成果を引き継ぎ、21世紀という新しい時代へのかけ橋となる次期総合5か年の策定にも取り組んでいるところです。

現在4年目の仕上げの段階を迎えている現5か年計画の着実な前進は、県民の皆さんと県政が一体となって、新しい千葉県づくりに取り組んできた結果だと考えていますが、特に、日ごろから社会奉仕活動や国際交流に取り組まれているライオンズクラブの皆様には、様々な事業の推進に積極的なご協力、ご支援をいただいております、大変感謝しております。」

**江畑ガバナ―**「お話を承り、21世紀はまさに千葉県の時代という感じを強く受けました。ライオンズクラブ国際協会には『ライオンズクラブ国際財団』がありまして、人道主義的奉仕活動のほかに発展途上国への職業技術指導の援助をいたしております。ビックプロジェクトの中にそうした目的の施設の子定があれば、経済的援助が受けられると思います。」

千葉県には日本の表玄関に当たる成田空港と物流港としての千葉港があるため、国際交流の進展と共に心配なのは、麻

薬や覚醒剤の汚染増加であります。ライオンズクラブでは薬害防止委員会を各クラブが組織して、地域ごとにそのPR活動やキャンペーンを強力に推進いたしております。』

## 献眼、献血、献腎及び骨髄バンク登録などのACT活動について

江畑ガバナー 「献眼、献血、献腎及び骨髄バンク登録などの奉仕活動は、人道主義を優先するライオンズクラブでは、ほとんどのクラブが参加しております。特に献眼については、1925年の第9回国際大会におけるヘレンケラー女史の「ライオンズよ、盲目の人に光を与える騎士たれ」の呼びかけに答えて、盲人福祉に奉仕することを宣言しました。以来、盲人福祉はライオンズクラブ国際協会の重点目標となり、現在ではアイバンク協会の最も大きな支援団体となっております。

最近の3年間には、地球上の4千万人におよぶ失明者を救済するための視力ファーストキャンペーンが実施され、1億5千万ドルが献金されて、失明者のための治療と教育の施設、人材の確保及びその活動に活用されております。このキャンペーンで、333-C地区即ち千葉県は全世界700地区中のベストテンの成績を挙げております。

更に、過日行われた第2回キャビネット会議では、これもやがて失明に至る人を救済するために設立された世界網膜色素変性症協会の日本支部が千葉大学に設置されたのを機会に全国にさきがけてわが333-C地区がこれを支援することを決議いたしました。ただ献眼については、登録者が必ずしも献眼者になれないという大きな問題をかかえておりますが、その解決には、医師会や厚生省を交えての対策が必要ではないでしょうか。

次の献血については、ほとんどのクラブが年に2～4回地

域住民に呼びかけて実施しており、日本赤十字社は毎年「ライオンズクラブ献血推進研究会」を開催する程にライオンズクラブに期待しております。最近では、患者さんへの治療効果及び輸血血液の安全性の確保のため、成分献血及び400cc献血が求められておりますが、この点も除々に推進されております。ただ、一部でもっと献血したいが献血車が来ないという声もありますので、献血車の派遣について、きめ細かな配慮をお願いしたい。

献腎については、年齢、適正、時間の制限のほか、拒否反応という問題もあるため、腎バンクへの登録で終わってしまうのが現状です。昨年私達の同志の一人が亡くなられた奥さんの献眼と献腎を同時にされて、二人の失明者に光を与え、一人の腎不全患者の命を救われた尊い成功例があります。

骨髄移植は本人の意思によりますが、献眼と献腎の推進には、遺族のご理解と、行政を含めた私達の愛と熱意の奉仕がどうしても必要です。』

沼田県知事 「千葉県では、腎をはじめとした臓器移植や在宅医療、老人医療などの課題に包括的に対応していくため、県民の皆様、市町村、医療機関、企業などから広く御協力をいただき、平成3年6月、財団法人千葉ヘルス財団を設立いたしました。ライオンズクラブ333-C地区会員に皆様には、腎バンク事業に対する多額の御寄付を頂戴するなど温かい御支援をいただいているところであり、大変感謝しております。

腎バンクや、アイバンク、献血などは、多くの方々の優しい心に支えられているものであり、県いたしましても、こうした思いやりの心を大切に生かしながら、県民の保健医療の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解、御協力をお願い申し上げます。』

江畑ガバナー 「お話しのとおり、高齢化社会を迎えての福





社事業は、行政と民間が一体となって取り組むべき問題と  
思います。ライオンズクラブでは、各クラブが「社会福祉委員会」  
を設けて、主として福祉施設に対する奉仕をしております。特  
に、メンバーの奥さん方を主体としたライオネスクラブと女  
性だけのクラブでは、寝たきり老人や身体障害者に対して、肉  
体的な介護と精神的な慰問を積極的に行っております。』

## 千葉県の新時代 — 今後の千葉県の発展 —

江畑ガバナー『千葉新時代ということが言われますが、今  
後の千葉県の発展について、お話しいただけますか。』

沼田県知事『千葉県は、51万ヘクタールという広大な県  
土と緑豊かな自然、580万県民の大きな活力を背景に、農業、  
水産業、商工業など、各産業がバランスある発展を遂げ、県  
民所作区も全国第5位を誇るなど、これまで着実な歩みを続  
けてきました。』

その上、まだまだ大きな発展の可能性を秘めており本県は、  
必ずこれからの首都圏の発展をリードしていく地域になると  
考えています。

特に、これまでの千葉県は、東京に隣接した地域を中心と  
して発展してきましたが、新しい交通網の整備や情報の発進  
源の開設によって、これからは千葉県全体が首都圏の基盤と  
して機能していくことに大きな期待が寄せられています。そ  
うして全体が躍動することによって、更に魅力ある新産業県  
千葉、国際県千葉への夢は広がってくるわけです。

先ほど、次期総合5か年計画策定に取り組んでいることは  
お話ししましたが、県におきましても、来るべき21世紀にむ  
け、千葉新時代を大きく開花させていくために、全力を尽く  
してまいりたいと考えています。』

江畑ガバナー『千葉県には103のライオンズクラブがあり、  
本年中には5クラブ程の新クラブが誕生して全県下をくまな  
く網羅する予定です。従って、交通網の充実が私達の活動に

とっても、非常に有難いことであります。ただ交通の発達と  
それをもたらす開発による環境汚染が心配です。そこで、ラ  
イオンズクラブでは環境保全運動を重点目標にかかげ、地域  
住民と共に環境浄化と汚染防止運動を強力に展開してゆくつ  
もりです。目下の所、空き缶やごみゼロ運動の他、河川を浄  
化して鮭の稚魚の放流や蛍養殖などを行っています。』

## ライオンズに期待する

沼田県知事『おっしゃられるとおり、開発と環境の保全との  
バランスを保つということがとても重要です。例えば、かずさ  
アカデミアパークでも、環境との調和を大きなテーマの一つ  
としているように、県では千葉県の有する緑豊かで多彩な自然  
を守りながら各種の事業を進めています。』

さらに、緑豊かな郷土づくりの推進のため「みどりの基金」  
の造成をはじめとする様々な施設の展開を図っているほか、  
多様化する環境問題に対応するため、水質保全、廃棄物対策等  
の施策の推進に全力で取り組んでいますので、御協力、御支援  
をお願いいたします。

ライオンズクラブの皆様は、それぞれの地域におけるリー  
ダーとして多方面にわたる御活躍を続けておられるわけですが、  
今後とも、地域社会の発展のために積極的なご活躍を繰り  
広げていただきますことを期待いたしております。』

江畑ガバナー『千葉県は、確かに、農水産業と工業を両立さ  
せた上で、なお緑豊かな自然を保てる恵まれた環境にあると  
思います。ライオンズクラブは、今まで申し上げた様な奉仕  
活動をしながら、地域並びに国際社会における相互理解と親  
睦を深める一方、自らの人間性を高めて心の豊かさを求める  
国際協会であります。この意味から、活動も県の計画されてい  
る「ピックプロジェクト」と「さわやかハートちば」の推進のお  
役に立つと思っています。』

司会『本日はありがとうございました。この新春対談を地区ニュー  
ス“友愛”第3号に掲載し、正月号としておとどけいたします。』

## 第2回キャビネット会議議事録

1994年11月19日、千葉県労働者福祉センターにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会333-c地区1994～1995年度第2回キャビネット会議の議事の結果を報告します。

1994年11月21日  
ライオンズクラブ国際協会333-c地区  
地区ガバナー L 江畑耕作

### ガバナー提出議案

第1号議案 次年度地区ガバナー候補者推薦の件  
333-C地区の次年度ガバナー候補者として、地区全10リジョン委員会より推薦者の提出がありました、現地区ガバナー L 林静誠（船橋中央LC所属）を推薦致したく、提案します。

[決議] 提案のとおり承認可決

第2号議案 年次大会議事規則等承認の件  
333-C地区年次大会議事規則、予算案、第41回年次大会議事運営構成表、運営構成表、決議委員会（フォーラム）担当委員を別紙（第2回キャビネット会議議事資料P20～P25）のとおり提案します。

[決議] 提案のとおり承認可決

第4号議案 感謝状規定承認の件  
慶弔見舞規定の中にある「感謝状について」を「感謝状規定」と改め、次の項目を加えたい。

2. LCIFに対し、1,000ドル以上の献金がライオンズクラブ会員以外から有った場合、手続き等で関係したクラブは献金者に対し、地区ガバナー名の感謝状授与を申請することができる。

[決議] 提案のとおり承認可決

### 委員長提出議案

地区献眼・献血・献腎推進委員会

L 神子文雄

1. 地区献眼・献血・献腎推進委員会提出議案  
第1号議案 アイバンク・アクティビティの件  
財団法人千葉県アイバンク協会に本年度も単位クラブの自主的な判断により、検眼登録及び助成金をアクティビティにするように勧奨して頂きたい。

第2号議案 献腎登録呼びかけについて  
千葉県ヘルス財団の献腎推進運動への協力として、地区内メンバーに対し、献腎登録を勧奨して頂きたい。

第3号議案 献血推進と献腎推進研究会の開催について  
毎年度、継続開催されている地区献血推進研究会を明年2月に開催していただきたい。

[決議] 第1号議案、第2号議案、第3号議案提案のとおり承認可決

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員会

L 越川兼治

1. 日本網膜色素変性症協会支援について

第1号議案  
日本網膜色素変性症協会に単位クラブの自主的な判断により、クラブまたは個人のACTとして支援会員となるよう勧奨して頂きたい。

[決議] 提案のとおり承認可決



# 会員増強と退会防止について思う

(会長の強固な意志決定の影響は大きい)

地区特別運営委員長 L.川崎忠男

新入会員オリエンテーションの時期が近づいてきました。その目的の一つにライオニズムの昂揚を図り、理解を深め、その事が退会防止につながると云うものがあります。クラブ運営上会員の増強と退会防止は重大であり、永遠のテーマですらある。例年6月になると大量の退会者が

出て参ります。日本のライオンズクラブの動態はどうなっているか、表-1の通りであった。-901名は日本ライオンズ始まって以来であります。世界レベルからみたときの減員比率は小さいとは云え、大変な事態の到来と云えよう退会防止の重大な所似である。

## 日本のライオンズ (1994年6月30日)

331-A	北海道 (道央地区)	69	66	69	3,964	3,923	△41
331-B	北海道 (道北・道東地区)	97	97	97	4,371	4,346	△25
331-C	北海道 (道南地区)	59	58	59	2,922	2,915	△7
	小計		221	225	11,257	11,184	△73
332-A	青森	64	61	84	2,799	2,897	98
332-B	岩手	55	55	55	2,394	2,421	27
332-C	宮城	77	76	77	2,918	2,813	△105
332-D	福島	78	77	78	3,295	3,300	5
332-E	秋田	55/山形 43	98	98	4,095	4,120	25
	小計		367	372	15,501	15,551	50
333-A	新潟	78/佐渡島、群馬 51	124	127	6,990	7,088	98
333-B	茨城	77/栃木 59	135	136	6,376	6,347	△29
333-C	千葉	102	99	102	4,501	4,519	18
	小計		358	365	17,887	17,954	87
330-A	東京	191/八丈島、三宅島	176	181	8,795	8,500	△295
330-B	神奈川	151/山梨 34/大島、根津島、新島 (東京都)	106	188	9,132	8,926	△206
330-C	埼玉	93	92	83	4,068	3,997	△74
	小計		454	462	21,995	21,420	△575
334-A	愛知	103	101	103	8,216	8,209	△7
334-B	岐阜	50/三重 32	80	82	5,553	5,663	110
334-C	静岡	80	79	80	5,157	5,118	△39
334-D	富山	37/石川 31/福井 26	93	94	6,125	6,089	△36
334-E	長野	55	55	55	3,606	3,609	3
	小計		400	414	28,657	28,688	31
335-A	兵庫 (東)	100/淡路島	98	100	5,804	5,628	△176
335-B	大阪	139/和歌山 25	163	164	10,985	10,798	△187
335-C	滋賀	24/京都 68/奈良 18	109	110	7,142	7,048	△96
335-D	兵庫 (西)	85/家島	64	65	3,692	3,682	△10
	小計		434	439	27,623	27,154	△469
336-A	徳島	33/高知29/香川29/小豆島、向島/愛媛51	139	142	8,103	8,223	120
336-B	鳥取	24/岡山 78	103	103	6,311	6,268	△43
336-C	広島	103/因島、向島、江田島/能美島/倉橋島/大崎上島/大崎下島/生口島	101	103	5,502	5,559	57
336-D	島根	48/山口 60/大島	105	106	5,210	5,234	24
	小計		448	454	25,126	25,284	158
337-A	福岡	105/対馬、壱岐 (長崎県)	105	108	6,445	6,412	△33
337-B	大分	50/宮崎 47	97	97	4,370	4,314	△56
337-C	佐賀	24/長崎 48/平戸島、大島、五島	71	72	3,021	3,623	2
337-D	熊本	49/天草、鹿児島47/長島、種子島、屋久島、与論島、沖永良部島	118	119	5,376	5,353	△23
	徳之島、奄美大島、富島島、沖縄23/宮古島、石垣島						
	小計		391	396	20,012	19,902	△110
	合計		3,081	3,127	168,038	167,137	△901

地区内会員の動静は表-2の通り、更に地区内純増したクラブは表-3の通り102クラブの中34クラブであった。純増1位の船橋クラブにおいては、会長L金沢一良はガバナー公式訪問質問回答書に10名の増員を決め、これをクリアした。

同じく純増1位の銚子クラブも同じく会長L江戸豊彦は結成30周年を記念し、当初より10名の増強を決められ、これをクリアした会長の強烈な意志決定と実践とその影響は大きい。言いかえるなら、会長の意志決定こそが会員増強の源泉となるとも云える。いずれにしろ10名の増強達成は（結果は純増8名）大変なものであった。アワード会員増強特別金賞を設ける可く進言すべきであったと後悔して居ります。

尚、この他純増を成し遂げた32クラブにも深い敬意を表するものであります。

●会員維持クラブは表-4の通り（±0）

期首会員と期末会員が同じというのも大変な事です。退会防止に成功されたと云うべきでしょう。

●純減クラブが地区内に47クラブありました。

具体的にクラブ名をあげるには心苦しいものがあります。（個人的には親しい友人の所属するクラブもあります。）が、会長をはじめとする各位がこの事を銘記し、このハードルを乗り越えるなら退会防止の実はあがるものと思われる。

333-C地区の動態は？

表-2 333-C地区会員動勢 1994年6月30日

年度	前期末	入会	退会	純増	新クラブ結成	平均会員数	年度末会員数	死亡	転籍
1993-4	4,502	425	378	17	3	44.30	4,519	33	+2

3つのクラブの結成と転籍2名をプラスして17名の微増である。

表-3 地区内純増クラブ

順位	クラブ	増強	順位	クラブ	増強	順位	クラブ	増強	順位	クラブ	増強
1	船橋	8名	10	松戸南	2名	10	成田	2名	20	千葉グリーン	1名
1	銚子	8名	10	印西	2名	20	下総中山	1名	20	千湯	1名
3	習志野中央	4名	10	八千代東	2名	20	野田	1名	20	木更津中央	1名
3	飯岡	4名	10	市原南	2名	20	柏中央	1名	20	木更津金鈴	1名
3	九十九里	4名	10	銚子中央	2名	20	柏なの花	1名	20	上総	1名
3	鴨川	4名	10	総武中央	2名	順位	クラブ	増強	20	君津	1名
7	千葉ポート	3名	10	富津	2名	20	沼南	1名	20	房総勝浦	1名
7	館山中央	3名	10	上総一宮	2名	20	習志野	1名	20	大網白里	1名
7	成東	3名	10	茂原中央	2名	20	八千代	1名			1名

表-4 地区内会員維持クラブ一覧（±0） 102C中27C 1994年6月30日現在

±0	クラブ名	±0	クラブ名	±0	クラブ名
±0	松戸ユーカリ	±0	佐原	±0	君津中央
±0	柏さくら	±0	八日市場	±0	鋸南
±0	船橋京葉	±0	大栄	±0	館山北
±0	千葉	±0	栗源	±0	館山南
±0	千葉エコー	±0	光	±0	房州朝夷
±0	成田グリーン	±0	旭	±0	長南
±0	成田平成	±0	山田町		
±0	下総	±0	袖ヶ浦		

表-5 地区内純減クラブ 102C中46C 1994年6月30日

クラブ名	前期未会員	当期末会員	純減	クラブ名	前期未会員	当期末会員	純減
柏オーク	68名	57名	11名	千葉京葉	56名	53名	3名
市川東	40名	32名	8名	酒々井	28名	25名	3名
富里	44名	36名	8名	木更津	31名	28名	3名
行徳	38名	31名	7名	房州白浜	30名	27名	3名
市原	48名	41名	7名	茂原	56名	53名	3名
館山	55名	48名	7名	浦安シーサイド	40名	38名	2名
白井	35名	29名	6名	関宿	22名	20名	2名
松戸	72名	67名	5名	船橋中央	104名	102名	2名
柏	78名	73名	5名	船橋ポート	56名	54名	2名
千葉中央	56名	51名	5名	千葉若潮	39名	37名	2名
八街	35名	30名	5名	東庄	35名	33名	2名
長柄	22名	17名	5名	多古	42名	40名	2名
浦安	54名	50名	4名	茂原長生	40名	38名	2名
浦安中央	46名	42名	4名	市川北	29名	28名	1名
流山	51名	47名	4名	松戸中央	57名	56名	1名
佐倉	43名	39名	4名	松戸東	58名	57名	1名
八街グリーン	31名	27名	4名	鎌ヶ谷	41名	40名	1名
神崎	46名	42名	4名	船橋東	57名	56名	1名
市川	53名	50名	3名	四街道	62名	61名	1名
我孫子	20名	17名	3名	夷隅	27名	26名	1名
柏グリーン	70名	67名	3名	白子	23名	22名	1名
船橋北	41名	38名	3名	茂原たちばな	27名	26名	1名
千葉幕張メッセ	50名	47名	3名	東金	42名	41名	1名

## 会員増強運動と退会 (脱落) 防止

1984年度グラインドスタッフ国際会長は、“会員維持計画”を掲げている。いづれにしても国際協会の統計を見ると最近の政情の不安定の関係もあろうがクラブ定着率が悪いのは事実である。

しかし、よく調べてみると退会率の特に高いのは、入会3年未満であることがわかった。

こうなると3年未満の会員の定着方法を対策として考えるべきであるということから具体的に次の11項目があらためてあげられたのである。

会員維持計画運動は、クラブの会員委員会の任務であることは言うまでもないが、この辺で考え方を変え、次元を変えて見るということであろう。

会員委員会の任務の一つである増強運動であるが、その

増強以前に退会を防ぐことがあることを知らなくてはならない。増やせども減らさない委員会、というモットーを委員会として掲げるときがきたようである。

会員の増強はライオンズの力の増大であることは言うまでもないが、その裏にはこのモットーがあることを忘れてはならない。

1. クラブの会員である真のよろこびと誇りを持つ。(ライオニズムの会得)

\*1990.10.25~29オークブルックで開催の開催の国際理事会は、次のように決定した。「使用可能地域は、世界中どこでも協会のクレジット・カードを会員に交付できるようにする。」

2. アクティビティに参加、奉仕のよろこびを体験する。(奉仕の体験)
3. 委員会などで適当な張りりと責任を持ち、やりがいを持つようにする。(責任感)
4. クラブ内での同好会をつくり、その世話役をする。

(友情と相互理解)

5. よいアイデアを出させ、それを採用、事業立案に参加させる。(事業の発展)

6. 友情を深める場として特別な懇親会を開く。  
(人間関係をつくる)

7. 本業(専門職)に対するスピーチの機会を持つ。  
(職業に誇りを)

8. クラブ会報に適当なコーナーを設け、投稿する。  
(知性を磨く)

9. 年次大会、チャーター・ナイトに出席する。  
(ライオンズの理解)

10. クラブ会費の合理化を考え、高額をさける。  
(クラブ財政の合理化)

11. 決められたオリエンテーション・研修会には必ず参加する。(人生道場)

## 退会理由と防止策 (会長必携より)

なぜライオンがクラブから脱落していくのか、国際協会役員及び理事の調査から判明した最も大きな理由を、以下いくつかあげてみる。

以上、前期の会員増強、維持、退会防止策等について情報として提供するものです。成果あらん事を祈念するものです。

退 会 理 由	防 止 策
1.クラブのリーダーシップのまずさ (組織、企画、目的)	クラブ役員スクールに役員全員を出席する。
2.入会希望者の調査の不備	会員委員会及び理事会が入会希望者の調査に時間をかけるよう図る。
3.いい加減でズサンな入会式	印象的で意味のある入会式
4.オリエンテーションの不足	国際協会の各種文献を用いて十分なオリエンテーションを行う。
5.不参加	会員全員を絶えず活動する。
6.新会員のスポンサーの責任回避	スポンサーにその責任を理解する。
7.友情、友愛の不足	会員のライオン歴に関係なく、その会員が重要な存在であり、その人の協力が必要であることを示す。
8.展開の存在	会員が参加できる奉仕活動を通して、チームワークを強調する。
9.不適切な委員任命と能力偏重	そのライオンの内的動機と生来の能力評価を慎重にする。
10.無意味なクラブ活動	地域社会が何を求めているかをよく研究する。
11.クラブが会員の期待にそわない	入会希望者に、クラブから何を期待できるかを十分納得する。
12.退屈な例会、形式的で変化がない	有能なテールツイスターをおく。余興など例会プログラムを計画し、ゆとりがあつて澁刺とした、そしてユーモアに満ちた例会にする。
13.クラブ会員及び役員の自己満足、無関心、 気力のなさ	若い会員を補充し、会員間の交流を計る。地域社会が必要に迫られている奉仕事業を計画し、リーダーシップを強化し、地区及び国際的な大会や行事に会員を参加する。
14.個々の会員に対する賞賛不足	会員の功績をほめたたえ、クラブ会員の前で表彰する。また時には肩をたたいて励ます。
15.役員と会員との連絡不行き届き	クラブ会報を改良し、理事会で討論のやり方を改善する。夫人同伴の行事を計画する。
16.一般人の対クラブ認識不足	積極的なPR委員長を任命する。
17.クラブの会員増強の不備	早めに地区役員に相談する。

-現職および元執行役員および理事を対象に行われた調査より-

# 日本網膜色素変性症協会 日本支部支援会員 会費並びに寄付金一覧

1994年11月30日現在 千葉ライオンズクラブ会長 塩澤健治

氏名	金額	備考
千葉LC会員	789,000円	32口数他寄付金
千葉LC	3,000,000円	30周年記念寄付金
鳩谷敏明松戸LC	30,000円	3口
松丸善次郎	10,000円	1口
白井LC	500,000円	寄付金
上総LC	30,000円	3口
総武中央LC	10,000円	1口
池田忠彦成田平成LC	10,000円	1口
成田グリーンLC	50,000円	5口
松戸LC	200,000円	20口
長南LC	10,000円	1口
江畑耕作旭LC	20,000円	2口
成田LC	10,000円	1口
鴨川LC	30,000円	3口
館山LC	30,000円	3口
松戸中央LC	10,000円	1口
干潟LC	10,000円	1口
菅谷功干潟LC	10,000円	1口
市川LC	10,000円	1口
松戸ユーカリLC	10,000円	1口

氏名	金額	備考
神宮武雄茂原中央LC	10,000円	1口
大和久徳造茂原中央LC	10,000円	1口
前田勇八千代東LC	10,000円	1口
鋸南LC	10,000円	1口
松井道雄千葉ポートLC	10,000円	1口
柏中央LC	10,000円	1口
船橋京葉LC	10,000円	1口
習志野LC	10,000円	1口
千葉京葉LSC	10,000円	1口
習志野中央LC	30,000円	3口
吉田政勝	10,000円	1口
千葉幕張メッセLC	30,000円	3口
守田和正佐倉LC	10,000円	1口
秋葉寛上総一宮LC	10,000円	1口
仲啓一野田LC	10,000円	1口
四街道LC	30,000円	3口
八千代LC	300,000円	25周年記念寄付金
千葉LC	200,000円	寄付金
合計	5,499,000円	

# 目の不自由な人達に 愛と希望の光を

前CSF地区コーディネーター  
L 楠岡 巖

**失**明は人生にとって悲しい出来事の一つです。そのために、空の広さ、海の青さ、花の美しさを見ることが出来なくなってしまいます。このような視覚に障害のある人が、全国で35万3千人もおり、そのうち角膜移植の対象と考えられる視覚障害者は4万6千人もおられます。現代人は情報の中で暮らし、その情報の多くは視覚を通して得られるものです。これらの人達が視力を取り戻すためには、透明な人間の角膜が必要です。

**財**団法人千葉県アイバンク協会が昭和60年5月に厚生大臣より認可を受けて運動しているボランティア団体です。運営はライオンズクラブ国際協会333-C地区内103クラブ、ライオネスクラブからの寄付金、県内各地の篤志家の方々の浄財の寄付等によってまかなわれております。

1994年9月現在、全国の献眼登録者数は84万9821人に上り、これまでに2万8665人が移植手術を受けられました。全国で今すぐ手術を受けなければならないと診断され、角膜手術を申し込んで順番を待っている方は全国で4,930人、昨年1年間に提供された眼球数(1,537眼)と比べ、約3.2倍の方が待っていることになり、実際に角膜移植手術を受けられるのは2年～3年先になり、待っている間に時期を失って手遅れになる人も少なくありません。

アイバンクは全国で48団体あり、懸命の活動を行っておりますが、手遅れとならないよう、待ち時間を今の半分以下の1年以内にするためには、今の2倍余りの献眼登録が必要です。一人の角膜提供によって二人

の方が光を取りもどすことが出来るのです。

**平**成6年4月1日より9月末日までの半年間に全国で1万8,296の方が献眼登録をいただきました。(平均1日102人、1ヶ月3,050人)そしてこの半年間で737の方が移植手術を受けられ愛の光をとりもどり、提供くださった善意の角膜はいつまでも生き続けることになります。

**献**眼登録の手続きは簡単です。千葉県アイバンク協会に電話または葉書でお名前と住所をご連絡ください。アイバンクから眼球提供申込書が送られてきますので、必要事項をご記入いただき、近親者の同意を得てご返送いただければ手続きは終了です。お手元に登録証が送られてきます。近視・乱視・老眼の方でも登録できます。年齢制限はありません。

登録した人にご不幸があったときは・・・

**登**録した人に万が一不幸があった場合は、ご遺族から、またはライオンズクラブより千葉県アイバンク協会に連絡をいただきますと、医師が派遣され、眼球の摘出が行われます。死後夏期は6時間以内、冬期は8時間以内に、眼球を保存液の中に浸さなければなりませんので、早めのご連絡が必要となります。目を提供されたご遺体には、すぐその後に義眼を入れますので、顔の形が変わるようなことはありません。いただいた眼球は、直ちにアイバンクの斡旋により、角膜移植を待っておられる病院に送られます。そして手術が行わ

れ、提供くださった善意の角膜は視力を回復した方の目となって、いつまでも生き続けることになります。この回復された方が登録をいたしますと、移植手術によって何年、いや何百年も生き続けられるのです。

**ア**イバンクに登録されている人は、全国で約85万人おいでになります。しかしせっかく登録されても、亡くなられたときに登録された千葉県アイバンク協会に連絡をいただかないと、ご本人の善意の心が生きないことになります。

**全**国の16万84人のライオン仲間です。1年間で1200の方が亡くなられています。この方たちが献眼登録をしていたとしますと、2400の方が愛の光を取り戻し、これを繰り返すと何百年も視力が生き続けられることになります。333-C地区のライオン家族の皆様方のご理解、ご協力により、これからのアイバンク運動が地域ぐるみの奉仕活動に発展されますよう、メンバーの皆様をお願いいたします次第であります。

次のところに電話をしてください。資料が送られてきます。

財団法人千葉県アイバンク協会  
〒260 千葉市中央区玄鼻

1-8-1

千葉大学医学部眼科教室内

TEL 043-222-6803

FAX 043-227-1810

献眼の場合、夜間、休日は

千葉大学病院眼科

TEL 043-222-7171

内線6455/6186



## 市原クラブ結成 30周年記念 市原コスモス 認証状伝達式

11月27日(日)、市原ライオンズクラブのクラブ結成30周年記念式典と同クラブのスポンサーにより9月に結成された市原コスモスライオンズクラブの認証状の伝達式が、沼田千葉県知事を始めとした多くの来賓、江畑ガバナー以下のライオンズ関係の来賓、ブラザークラブ29クラブのメンバー、市原とコスモスのメンバー含めて総勢300名余りを、一堂に会して五井グランドホテルに於いて盛大に同時開催された。

市原ライオンズクラブは、1964年2月クラブ結成以来、今年で正に30年その間、ライオニズム精神に徹し、あまたの地域社会に対して有効、多岐貴重なアクティビティを展開、その活動の成果は目を見張らせるものがあつた。このことが又今回のエクステンションにもつながり、地域社会から多くの感謝と高い評価を受ける基調ともなっている。

「30周年記念・コスモス伝達式記念」  
合同アクティビティ

1. 市原青少年育成市民会議  
金一封
2. ボーイスカウト千葉県連盟  
上総地区 金一封
3. 社会福祉法人市原市  
社会福祉協議会 金一封

## 4. 交通安全広告塔 一基

また、このクラブはスポンサー千葉ライオンズクラブ(会長L 塩澤健治)により結成された歴史の古いクラブ(県下7番目)だけに、過去にキャビネット役員を多数輩出している。席上長期在籍者表彰で次の各Lが表彰された。

鎗田衡平、牧野肇成、青柳吉昭、中島市太郎、柳川昌儀

会場も同じ時刻もおなじ参列者もおなじ、式の進行も同時進行で華やかですがすがしい、認証状の伝達式はこのクラブが佐倉ライオンズ、市原南ライオンズにつぐ三番目のエクステンションになるコスモスの伝達式だ。このエクステンションはまた、市原クラブの30周年記念事業の一環である。リジョンにとって、ゾーンにとってその成員の大きな喜びであり誇りである。江畑ガバナーも市原ライオンズクラブのその「偉大なる功績に対し、惜しみない賛辞と敬意を呈する」と祝辞の中で述べている。

地域社会と共に発展していくことを期待したい。

(記高岩)

## 八千代LC・CN 25周年記念 式典挙行

1994年11月20日 八千代LC25周年記念式典を八千代市勝田台グランドホテルにて挙行了しました。

当日は333-C地区ガバナーL江畑耕作・八千代市長をはじめ多数の来賓とライオンズクラブメンバー200名のご来席をいただき、盛大に式典が行われました。

八千代LCは、1969年11月9日に

習志野LCのスポンサーにより結成し、以来本日25周年を迎え、この間親クラブ、ブラザークラブの友情により、地域社会に奉仕活動を続け、又5年前には八千代東LCをスポンサーし、子クラブを誕生させることが出来ました。

今回のCNには、会長L鈴木統一・大会実行委員長L杉岡昌明をはじめ、八千代LC全メンバーの努力により大会を成功に導いたものと思います。

1. 在宅ケア用在宅訪問車  
(マツダスクラム660 4WD) 1台  
八千代市保健センターへ寄贈



2. 八千代少年少女合唱団へ  
文化育成基金 金一封
3. 八千代市手をつなぐ親の会  
(八千代市福祉作業所) へ金一封
4. 日本網膜色素変性症協会  
(JRPS) へ金一封
5. ライオンズ国際協会333-C地区  
アクト基金(LCDF) へ金一封
6. YE(青少年交換)助成金  
(東欧指定) へ金一封

25周年を期に会長スローガン(にこにこ真心奉仕緑の輪)をモットーに奉仕活動を続けていく所存です。

クラブPR情報委員長  
L 嶋田昌弥

# 福祉チャリティ・講演 とコンサート

LC 国際協会333-C 地区4R-2Z  
白井ライオンズクラブ

**皆**さんは網膜色素変性症という眼病があるのをご存じだろうか。

この病気は網膜に色素が沈着し、視野がだんだんと失われ失明に至る眼の難病である。

どうしてそうなるのか、原因も定かではなく、もちろん治療もまだ確立されていない。患者にしてみれば徐々に失われていく視力には大変な精神的苦痛が伴い、医師としては眼の治療と共に精神的にも支えていかなければならない病気だと伺った。この研究に医師と患者そして支援団体が一体となった国際網膜色素変性症協会（略称IRPS）が1971年アメリカで設立され、スイスのチューリッヒにその本部がある。国際協会の26ヶ国目の支部として日本網膜色素変性症協会（JRPS）が千葉ライオンズクラブの支援により設立された。

**我**が白井ライオンズクラブも視力ファーストの延長線上にこれを位置付け、微力ながらも支援するべく講演とチャリティーコンサートを企画し、6ヶ月の準備の末ようやく開催にこぎつけた。10月30日は当クラブCN3周年の前日でもあった。前日からの雨がようやく上がり、曇りがちの天気ではあったが福祉チャリティ・講演とコンサートが「共に生きる社会のために」をスローガンに掲げ、3福祉施設と1福祉団体を招待して開催した。

**第**1部は、千葉大学医学部眼科教授であられる安達恵美子先生の講演は「目の病気のいろいろ」と題してスライドを中心にして難しい医学の話をやさしく、分かりやすく解説していただき、まさに目から鱗が落ちる思いであったのは、私だけでは無



かったと思っている。一人でも多く視力障害者にしないために日夜研究に努力されている安達先生の姿を拝見して、医学と障害者福祉はまさに車の両輪であることが実感として感じられた。第2部の福祉チャリティーコンサートは、なかなか外に出る機会の少ない施設入居者が少しでも外に出て一般の人々と触れ合って戴こうとする

趣旨の下に、身体障害者療護施設「誠光園」の20名の方々と、特別養護老人ホーム「梨香園」の10名のお年寄り、それに白井町福祉作業所の入所者にお越し願った。車椅子介護のボランティアには社会福祉協議会のボランティア連協10名と、この夏に福祉サマースクールに参加した中学・高校生13名をお願いした。

出演はアマチュアのコーラスグループと白井高校のブラスバンド、プロの民謡歌手とクラシック演奏家とバラエティに富んだものとなった。民謡歌手の石田俊雄氏がマイク片手に歌いながらステージを降り、身体障害者一人一人と握手したとき、会場に湧いた拍手には本当に感激させられた。

コンサートが終わり、ステージの何から何まで面倒を見ていただき経費持ち出しの出演料で引き受けてくださった石田氏から「障害者の方々の目の前で唄えたのが嬉しかった。感謝です。ライオンズクラブに感謝いたします。」と言われて大変恐縮してしまった。

**最**後になって恐縮ですが協賛していただいた千葉ライオンズクラブ、船橋東ライオンズクラブ、船橋北ライオンズクラブの皆様には大変なご協力を戴きました事を改めてお礼申し上げます。



# Lions 活動レポート C Club

習志野LC

## 彫刻に学ぶACTの原点

私達には秘かに知的文化の伝承として誇りを感じているACTがある。CN10年15年の各々市内に設置した彫刻によるモニュメントがそれである。著名な彫刻家の作品だけに市民に高く評価されながら観る人の心に安らぎを与えているが現在これをACTの題材にしようものならクラブの全財産を投じても遠く及ばない芸術的評価の高い作品になってしまった。十数年経って風化どころか年々輝きを増すこのモニュメントの不変の価値に私はACTの原点を学ぶのである。“磨かざるものに光なし”のたとえのように今期私は継続事業を含むACTの見直しを事業委員会に提唱した。先輩Lから引継がれた事業の数々を違う角度から見つめ更に時代のニーズに応えるものにしようとする試みである。今回、事業委員会を通した幾つかの事業をご紹介します。



モニュメント

会長 田久保清一



養護老人ホーム「白鷺園」への慰問

今期で21回目の慰問、市内で評判の寿司屋さんを連れての「にぎり寿司」は7年間続いている。それにほんの少しのアルコール、

食事後は市内の伝統芸能「谷津ばやし」でお年寄達は大はしゃぎ、カラオケ交歓をフィナーレにして3時間半の慰問を終わらせた。この模様は朝日新聞・千葉日報で報道された。



東京ディズニーランドにご招待

今期で十回目となるディズニーご招待は特に重度の障害をお持ちの高齢者に絞ってお連れしたためか感激の余り泣き出す方が続出した。招待者全員が車椅子、市職員・クラブ員を含めてバス9台、合計122名でこのACTを完了した。



シニアヘルスアカデミー（新事業）

高齢化が進む社会にあって一定の出現率で発生する高齢障害者は将来的には行財政をも揺るがしかねない要因をも膨らんでいる。当クラブではこれを視点にして高齢者のためのスポーツ健康講座の研修校を開校、毎年60名の卒業生を輩出させながら“行動する高齢者の創造を目指す我がまち習志野”をテーマに21世紀を生きる高齢者の意識改革を提案する。尚、習志野市がバックアップしLの運営するCAC千葉アスレチックセンターを校舎の医師Lを講師に、メンバーの労力ACT、これを基盤にスポーツ健康講座にプログラムを進めている。

# Lions 活動レポート Club

千葉エコライオンズクラブ

## 花見川を『花美川』にしよう

千葉市の幕張メッセ近くを流れる「花見川」添いの緑地に、千葉エコライオンズと地元住民の協同で桜の苗木220本（山桜131本、大島桜52本、染井吉野37本）の植栽作業が10月31日に行われた。当日は地元小学生175名も参加約1時間余りみんな和気霽霽裡に作業に取り組んだ。植栽場所は美浜区の若葉から美浜大橋の川沿い2キロと、花見川緑地内だ。ここに集まった人々の思いはみな一つ、やがて（開花は早ければ平成9年頃）今は極めて殺風景な花見川河口付近が千葉でも有数な桜の名所になることと夢みてる。

そして市民の憩いの場所となり環境の浄化にも一助になることを確信してのことだろう。

植栽に先だって行われた八角美浜区長や小学生代表中村麻子さんの挨拶にも期待と夢が満載だった。

地元出身のエコのメンバーL、附木年正がこの記念植樹に関わってここに至るまで様々な努力をした。



千葉京葉ライオネスC

## 地域社会に奉仕、 地球的善意広く推進しよう

気品と優雅に満ちたクラブ、そして礼儀正しい女性のみの会員が構成するクラブ、それが京葉ライオネスだ。

10月15日(土)に中村リジョン・チャマン、五月女ゾーン・チャマン、長谷川ゾーン幹事、高岩PR情報委員の四人と京葉クラブの三役(塩崎、秋山、関沢各L)でクラブを訪問した。訪問の初印象は只素晴らしい、の一語に尽きた。それはクラブ会員の立居振舞までが何しろいきいきとして、そして楽しそうであるということである。例会の議題、幹事報告、進行の中にこのクラブが過去に何をやって来たか、これから何をやろうとしているか、やりたいかを女性特有の謙虚な中にも、自ずと女性が果たすべき役割を心得て、女性の感性で真摯に見つめる姿をそこに見たような気がした。

何しろ若々しい、そしてねばり強くその上手際がよい、我々のライオンズクラブにはないエネルギーを感じる。

その千葉京葉ライオネスが結成以来手掛けてきた恒例の第14回のチャリティーパーティーが1995年の2月5日16時から千葉のニューツカモトで開催される。会費は15,000円であるがこのクラブのチャリティーにかかる意気込みは絶大なものがある。その意味で女性のみその特色を生かした奉仕活動を是非成功させてあげたい。彼女たちの奉仕活動に励む姿に、同じ立場の我々は共通の思いを託し、この資金調達活動をクラブを挙げて配慮し全面的なサポートをお願いする。



# Lions 活動レポート LC Club

佐原LC

## 視力保護盲人福祉ACT

佐原高等学校で講演会開催

1925年オハイオ州の世界大会で、かの有名なヘレン・ケラー女史のスピーチが行われ、これを機にライオンズクラブのクラブ活動は「視力保護盲人福祉」問題に全力が注がれるようになりました。

佐原クラブもこの「視力保護盲人福祉問題」の一環として、盲人用の白杖、ベル等を寄贈してきましたが、同時に手話の講演会にも力を入れて参りました。

10月29日市内の県立佐原高等学校に於いて、千葉県ろうあ団体連合会会長の川根三男氏を講師に迎えて、今年で11回目の講演会を、同校1年生400名を対象に行われました。

11年と云う長期にわたっての活動をするためには学校の協力は勿論、生徒の感心がなければ続くものでは有りません。

わが佐原クラブとしても大きなアクトの一つで有る訳ですが、学校としても今では「手話講演会」が授業の一つにもなっている様です。

皆熱心に聞き入り、少しでも覚えようと講師の後について手話を真似る。納得したときの嬉しそうな顔は実に素晴らしいものです。

この中から一人でも多く「視力保護盲人福祉」問題に関心をもってくればと、我々も来年に向かって計画を立てるのです。 目的達成を夢みながら…。

PR情報委員会



館山中央LC

## 晴天下の ライオンズ梅園の草取り

我がクラブがチャーターナイト20周年記念事業のひとつとして、千葉のキャビネット梅園から250本をいただき、その内180本を安房郡三芳村宝珠院うら敷地へ植樹、今年で6年目。追肥や草取り等毎年世界ライオンズ奉仕デー（10月8日）に、休日を利用して梅の樹の養生作業を行った。なかでも、土壌不適の所もあり、枯れたものも多く、試行錯誤の連続である。それでも現在131本が元気に生育している。今年度は、この補充として20本程度を植樹の予定とした。作業参加者は休日にもかかわらず多数あり、感謝しています。午前9時より12時までの3時間、草刈機のうなる音があちこちに響く。来る春に香しい梅林の花見を夢見て作業に汗して、皆精だしての作業は思いの外、早く進んだ。地元の人も加わり、楽しい昼食を交えコミュニケーションも出来て、意義深い日となった。



9R1Z合同

## 愛の献血運動実施

9R1Zでは去る10月7日と10月16日の両日に亘り、愛の献血運動を実施、その結果は次の通りである。

# Lions 活動レポート LC Club

- 館山LC (10月7日)  
200cc × 63名
- 館山中央LC (10月7日)  
200cc × 65名
- 館山南LC (10月7日)  
200cc × 29名
- 館山北LC (10月7日)  
200cc × 46名
- 鋸南LC (10月16日)  
400cc × 2名
- 鋸南LC (10月16日)  
200cc × 6名



年)から継続事業の一環として、町内各学校(小学校2・中学校1)に、ライオンズ文庫よう資金として毎年10月に金壺封を贈呈しているものです。(房州白浜ライオンズクラブ)



## 館山LC・館山北LC ミニバスケ交歓大会

館山LC(鈴木正一会長)と館山北LC(畑良吉会長)主催による、第2回ミニバスケットボール交歓大会がこのほど、富浦町民体育館などで行われた。

大会は、青少年の健全育成の力を注ぐ両LCが、郡市内のミニバスケクラブ員同士の親睦を深めようと、実施しているもので、男子8チーム、女子14チームが出場。6リーグに分かれ熱戦を繰り広げた。



## 房州白浜LC ライオンズ文庫の葉

健全な児童育成のためには良い読書の習慣を、とメンバーの願いから、房州白浜ライオンズクラブ発足20周年記念(1987

## 3R1Z・2Z合同例会 ガバナー熱演!

おりから台風が接近し、風雨が強まった9月16日、ガバナー公式訪問合同例会が柏市内のホテルで開催された。今年度はリジョンが分割されたが、長年の馴染みが忘れられず、あえて合同でひらかれたもの。

参加人員は358名。江畑ガバナーの所信表明が力強く行われ参加者の感銘と共感を呼んだ。圧巻はテールツイスタータイムでの一コマ。柏市に古くから伝わる踊りに飛び入り参加し、保存会のメンバーと一緒に面をつけて熱演。ヤンヤの喝采を浴びたが、硬軟両用併せ持つガバナーの人柄に改めて感服させられた。



# Lions 活動レポート Club

## 身障児と独居老人に贈り物

柏グリーンLCが恒例のプレゼント作戦

継続事業として身障児と独り暮らしの老人を慰問している柏グリーンLCでは、まず10月7日に柏育成園、十余二学園の園児や両親61名を観光農園に招待した。今年の夏は異



3R合同事業で

## チャリティコンサートを主催



秋も深まった10月29日、柏市立柏高等学校吹奏学部のオータムチャリティコンサートを開催した。これは青少年が21世紀に向けて“音楽を通し心豊かな人間に育って欲しい”

常な暑さだったためイモも不揃いだったが、秋の半日、歓声を上げてイモ堀りを楽しんだ。

一方、10月20日には市内近隣センターで行われた独居老人の集いに合わせて鉢花を持参。ひとり一人にプレゼントした。

この鉢花は身障施設・青和園の園児が丹精込めて育てたペゴニアを購入したもので、他の15地区近隣センター内のお年寄りにも巡回してプレゼントされる。

との願いを込めたもので、いわば未来投資として自らに課した事業。

当日は雨にもかかわらずリジョン内の小中学生を中心に1,300名ものファンが詰めかけ、会場の柏市民文化開館の大ホールはほぼ満員。

全日本吹奏楽コンクール等で数々の金賞・銀賞を受賞している同校の演奏は満員のファンの心を魅了し、十分に所期の目的を達した。なお収益金は趣旨に沿って同校の音楽情操教育の一助にと提供された。

## 手賀沼浄化標語展を開く

柏市内8クラブで合同アクティビティ

“始めよう手賀沼浄化は私から”をスローガンに、汚染の進む手賀沼の浄化を考えた地域子ども達の標語展が開かれた。これは柏市内8クラブが、ライオンズ奉仕デーに合わせて行ったもの。市内小学校から2,146点の応募があり、10月8日～10日の3日間、柏高島屋の市民ギャラリーで市民に展示された。

また会場では訪れた市民に、生活雑排水汚濁防止に「水きり濾紙」が配られ好評を博した。

# Lions 活動レポート LC Club

7R3Z

## 山田町LC15周年ACT

「やまゆりの里づくり」「幼児用遊具」を設置

山田町LC PR情報委員長 L.木内泰平

山田町町制施行40周年にあたり、町の花を「やまゆり」に決められた。このことと、山田町LCがCN15周年記念を迎えた記念事業をタイアップさせることが協議されACTの柱を次のように立てて実行に移した。

1. 橋ふれあい公園に幼児用遊具を設置する。150万円。
2. 同上いこいの森へ「やまゆり」の球根3000球を植栽、町内教育施設7校へも球根を配布し「やまゆりの里づくり」の拠点とする。126万円。
3. 千葉県アイバンク協会協力金30万円
4. 防犯灯の追加設置、12基21万円
5. 青少年健全育成事業助成金15万円

合計342万円と植栽労力ACT240時間、碑の建立を含めて総額350万円のもとに11月11日完了。11月20日旭市ブライダル武蔵野に於いて地区ガバナーL江畑耕作はじめ地区役員、ブラザークラブ3役のご来臨をいただき、つましくも意義あるCN15周年記念特別例会を執り行われました。ご来臨各位より心のこもった祝意を頂戴しましたこと紙上を借りて厚く感謝申し上げます。

町の名勝「橋ふれあい公園」は、古くは「多知波那堰」と呼ばれ町内田部地区に存在した面積2haの官有地に加えて憩いの森のアスレチックを持つ近代的な施設である。

この橋堰は、古く縄文の昔から、かたりの海の入江奥付深きところ小川を堰とめて稲作が行われ、百日の干にも水の枯れること無く、一田部二多た三夏目と誇称された水量豊かな堰である。周囲には、数多くの旧跡があり南仁良にはかつての下総七牧管下の牧野跡、平胤後ゆかりのお姫池、北田部には木花咲邪姫を祀る浅間山、風害鎮護のため級長戸部神を祀る風王山、日本武命陣所跡、景行天皇御野立所跡の鶯の宮、春海上人入定塚、大六天王宮跡、相撲場跡、徳星寺開創の旧地等ありと、広報やまだに史跡調査の結果が載せられている。

山百合は古くから日本に存在したことは、万葉集に、大伴坂上郎女（おおともさかのえのいらつめ）詠む歌

夏の野の繁みに咲ける姫百合の知らえぬ恋は苦しきものぞや、柿本人麿の

路（みち）の辺の草深百合の後（ゆり）にとふ妹が命をわれ知らめやも

とあるように、どこにでもあった花だが、第2次世界大戦下、木材供出で裸にされ、経済成長一途の戦後の歩みは林業を顧みるとまをなくし、ゆりのはなを愛でるところが荒廃するがままに放置されてきた。

戦後50年になろうとするとき、自然との共生を心しはじめるようになった。

山田町が「やまゆりの里づくり」を志向し、この地にやまゆりの大集落ができたことはまことに意義深く思うものである。

ひさかたにゆりの香みなぎるたちばなの森ぞ床しきふれあいのさと  
(風句添え欄筆す)



## LCIFガバナー賞受賞に感謝して

山田町ライオンズクラブ L.L林 政子・L.L越川しま

今回私達LCIF千チドル献金を致しましたところ本日11月20日山田町LCチャーターナイト15周年記念の目出度い席上で、ガバナーL江畑耕作から思いもかけなかった栄ある賞状を戴きまして感激で胸がいっぱいで御座居ました。

一寸した贅沢を抑えて貯めたお金がこの様にお役に立ててほんとうによかったと思いました。当日ガバナーの御挨拶の中で此の賞は昨日11月19日のキャビネット会議で決議され出来たばかりでその第一号ですとのお言葉尚さら感慨深う御座居ました。私達の一生の宝物として大切にいたします。又来賓の方々クラブ会員並びにレディスの方々には暖かい拍手を送ってくださり頭が下がりました。奉仕は人の為ならずと云う諺が身にしみて感じ、ライオンズクラブの皆様に行っている事がこんなにも素晴らしい事を知りました。これからもライオンズクラブに協力して参りたいと思っております。有難う御座居ました。

# 1994夏期YE生派遣報告[2]

地区ニュース”友愛”第2号に引き続き、派遣、来日生のレポートを報告いたします。  
特に来日生の英語の翻訳はL種子島敬司YE委員長に特段のご協力を戴きました。

## アメリカ・カンザス州 家族の一人ひとりを 大切にする家族の一員 KS-4 小川 廣 (SP.C八街LC)

今年の夏、訪問させていただいたのはアメリカのカンザス州という所で、受け入れて下さったホストファミリーの家庭は決して大邸宅とは言えなかったのですが、とても人情のある暖かい家庭でした。ことなつた文化をもつ国の家庭に“お客さん”ではなく“家族の一員”として生活になじんでいくのには予想外の苦勞がありましたが、自分から積極的に話をしたり、自分の意見をしっかり言うことで42日間を有意義に楽しく過ごすことができましたと思います。

アメリカの人は日本やアジアの生活様式やアメリカとの文化やものの考え方の違いを一生懸命に理解しようとする姿勢が強く、何かある度にいろいろなことを聞いてきたりしました。そしてその質問に答えると相手は「アメリカ(私たち)はこうする。」「こん考える。」というように自分の意見をはっきり述べ、お互いに文化を紹介し、理解できたと思います。

滞在中は、買い物、動物園、牧場、航空エアショーなどいろいろな所につれていっていただいたのですが、珍しく裁判所にいき裁判の判決に立ち会うというような体験をしました。こ



のような普段ではできない体験をまじえた42日間のホームステイで学校の英語の授業では習うことのできない“生きた英語”を知ることができただけでなく、自分でものを考え、決断し、自分で問題を解決する、といったような精神的な面でも少し成長した気がします。ホームステイをして一番印象に残った事は、家族の一人ひとりがお互いに家族を大切にすることと、その家族の一員になれたということです。

最後にはなりますが、このホームステイのために時間を使っ  
て下さった方々に心から感謝します。いろいろな事を身につけることのできる時期にこのようなすばらしい体験ができたのもみなさまのおかげだと思います。ありがとうございました。

## アメリカ・ミズリー州 アメリカを見て MO-6 川野 武 (SP.C船橋LC)

### ①福祉

アメリカでは、全てとていいくらい、駐車場に車椅子のマークのついたスペースがあります。障害者専用のスペースは決まって入口の近くになっています。もし入口での段差がある場合は、スロープがあります。そして障害者のひとびとも又、当然に普通

に仕事をしています。私の訪れたテーマ・パーク、セブラルシティでも、電気車椅子が無料貸し出しをしていたし、お年寄りもならばなくて良いようになっていました。そして、全ての人がからだの不自由な方の為に協力します。そして障害者もそうでない人も何の気兼ねもなく陽気にふるまえる人々がいました。

そこには日本にない意識が存在し、私達にはない陽気さがありました。日本が学ばなければいけないこと、そして私が伝えなくてはいけないことだと実感しました。

### ②アメリカ人の一週間

アメリカ人の一週間は本当にシンプルだ。そして家を大事に

する。今、アメリカは、ワン・ペアレンツ家庭がふえ、ちっとも子供や家庭を大事にしないと言われるが、私の触れたアメリカ人はとても温かく家庭を大事にした。

ここで私のふれた一家庭の日々を紹介しよう。1日はまず、たいへんヘビーな朝食から始まる。後から解った事だがミズーリには数多くの農場が存在する、そのために1日の労働のパワーを付けるためにこの地方の朝食はヘビーになったようだ。そして昼まで働く。正午を過ぎると両親は家に戻ってきて昼ご飯を取るのである。夕食は夫、妻がそれぞれ交替で作る。食事はどんな事情があっても一緒に食べる。食後しょう2時間は会話の時間をもつのである。

金曜日の夜は決まって夕食をする。家族みんなが楽に食事ができ、楽しさを求める。

日曜日には教会へ赴き、ジーザス・キリストを学び祈る。そしてだれもが教会音楽を歌う事ができた。

私の訪れた町は私に、本当によいアメリカをみせてくれた。

「話しやすく、気さくな人々だった」

### ③人種差別

アメリカはだれもが知るように人種の「坩堝」である。そもそもアメリカの歴史を振り返れば解るように、西からの多くの移民、そして、奴隷としてアフリカから来た人々、先住民であるインディアンなどをはじめとして数多くの人種、民族があふれている。今でこそ、人種差別が法のうえからは消え去ったが、まだまだ根づく市民レベルで「差別」が残っていることを感じた。



私が初めて私達に対する態度が変だなと、思ったのはロスの空港にいる時でした。ホテルへのシャトルバスに乗車拒否されたこと。運転手は「今忙しいから次のののってくれ」と、言った後、私達のいる反対車線に居眠りをしていました。ガイドヘルパーの方は、「こんな事はしょっちゅうだよ」と言っていました。が、ショックでした。

私の想像していたアメリカとは少し違っているのにびっくりしました。

### ④感想

私は、たった6週間の体験だったけれど本当に楽しかったです。そしてとても勉強になりました。

日本の外にでて、異国の風にあたることができました。ライオンズクラブとしてどうだったか？何を学んだのか？これからの私の課題だと思います。

船橋ライオンズの皆様、本当にありがとうございます。

## アメリカ・ミズリー州 私の6週間

MO-7 磯貝さつき (SP.C 船橋LC)

アメリカ・ミズーリ州の南西オーロラという人口約7000人の小さな町にステイしました。29才のお父さんと26才のお母さん、6才の弟、8カ月の妹。私のアメリカの家族です。若い夫婦だったので、お兄ちゃんお姉ちゃん、という感じでした。私の場合、ホストファミリーに恵まれたのが最高の幸せでした。数十メートル先に、おじいちゃんとおばあちゃんが住んでいて、みんなにかわいがってもらいました。私のところもダブルホスト、こちらの家もダブルホストで日本人の女の子が4人でした。最初、「単独ホストがいいなあ」と思ってやってきただけに、少しショックだったけれど、そんな心配は無用でした。とにかく、私のつたない英語にとことんまで付き合ってくれるのです。わからないのに、あいまいに笑って終わりにするのだけは絶対に嫌だったので、わからない、という顔をしていると、実際行動で示してくれたり、やさしい英語にしてくれたり…。だんだんと意味がわからず流れていく会話も減っていき、一緒に笑う会話が増



えていきました。ホストマザーとは、ほぼ毎晩のようにいろんな話をしていました。2時、3時まで、結婚までの2人のなれそめや、学生時代の話、また、日本の話や私たち家族の話で盛り上がりました。こんなにまで、話せるとは思っていませんでした。驚きました。でも、もっともっといろんな事を話したいという欲もできました。一番強くそれを思ったのは、おばあちゃんが第2次世界大戦のことを話した時でした。戦争の話はタブーだと思っていた私にとって、これは驚きであり、喜びでした。「話したい」と思い、ぐっと興奮しました。が、何も言葉がでてこないのです。もどかしくて、くやしくて、でも何か伝えたく



て、おばあちゃんの目をみて「I don't like wars.」とだけ言いました。すると「私もよ。」と彼女は言いました。「Everyone should be friends, everyone.」その時、少しおばあちゃん目は赤くうるんでました。それからにっこり笑って私たちは握手しました。友情がうまれた瞬間。決して忘れられないひとときです。おばあちゃんはあることに抱きしめてくれました。「I love you.」といっしょに。オープンな愛情表現に、最初はとまどいもありましたが、とても素敵な週間だと思います。

向こうで遊園地のようなところに3回くらい、買い物には数えきれないくらい連れてってもらいましたが、私は日常の一緒に洗濯したり、料理したり、やんちゃな弟とけんかしたり、赤ん坊の妹にご飯を食べさせたりしたことの方が鮮やかによみがえってくるのです。みんなと暮らしていると、「やっぱり人間て同じだ。」て思いました。生活習慣で違いところなんていうのは、別に大した問題じゃないんです。楽しくなったりね悲しくなるその心が同じです。当たり前といってしまうとそれまでだけど、島国で17年間暮らしてきた私にとって海の向こうにクラス人々の心がこんなに身近に感じられるのは、感動でした。英語も、生活手段の一つとして理解しました。学校の教科の一つではないんです。付加疑問感嘆文、これが言葉として自然に使われているのを見て言葉に対する認識もがらりと変わったのです。

日本をどれくらい知っているかな？と思ったら、何人も日本人を受け入れた家庭なので、しそのふりかけがあったり、日本

人形があったり、折り紙なんて当然ありました。私は、剣道をやっているの、竹刀を持っていき練習がてら、紹介してきました。だけど、どんなにたくさんのおみやげでも、本当の日本は伝えきれないと私は思うのです。こんなにもアメリカの情報があふれている日本から来た私も、毎日が驚きの連続だったんですから。何年か後に、日本のライオンズクラブの国際会議が開かれるから、その時は家族みんなで日本に行きたい、と言っていたので、実際日本に来て、日本を知ってほしいと思いました。その時、どんな風に日本を感じるか知りたい気がします。

give and takeの精神で、というけど、私は幸せをもらい続けた6週間だったように思います。せめて、と思って家族みんな顔をきり絵にして額にいれてプレゼントしました。最後の夜、朝がたの5時くらいまで一生懸命つくったのもいい思い出です。

語りきれないほどの体験をしました。体全部でアメリカを感じてきたつもりです。もちろん私の6週間だけの印象でアメリカという国や人を決めるつもりはありません。まだほんの少し触れただけで、いいところばかり見てきてしまった気をしますが、アメリカ文化を学べることよりも、言葉も、生まれ育った環境もまるで違う人々と一つ屋根の下で暮らし、心が通じた。この体験こそ最大の宝物です。空港で最後の言葉、「We love you, come back.」これは、言葉の贈り物。

17才の私の夏は、今までで一番の夏でした。

## アメリカ・ユタ州 東京の慌ただしい生活からは、 想像できない長閑な暮らし振り

UT-3 扱木秀太郎 (SP.C 柏オークLC)

今回、ライオンズクラブの皆様の御支援の許、アメリカのユタ州へ1ヵ月程行かせて頂きました。

わたしのステイ先は、ユタ州の南部に位置するKanabという小さな田舎町で、町の周囲は赤い山肌に包まれ、まばらに木が生えているといった感じの所でした。現地の人々の生活は、大抵の家庭が自宅の庭でトマトやキュウリ、トウモロコシを栽培しており東京の慌ただしい生活からは想像もできないほどのどかな暮らしぶりでした。

個人主義が強調される一方で、人々は非常にフレンドリーであり面識のない私にさえ気軽に「Hi」と声をかけてくれ見知らぬ町での不安をかき消してくれました。時間の波に翻弄され自分のことで精一杯という生活の一方で、こんなに心に余裕のある生活もあるものかと非常に驚きました。

国際化社会と言われるようになって久しいですが、果して本当の意味での国際化はどこまで進んでいるのでしょうか。確かに企業は世界中に進出、各国間の協定は次々に提携され、海外旅行へは気軽に行ける時代である。しかし、それぞれの地域に



住む人々の暮らし、文化、歴史、伝統に触れ互いにその価値を認め合うことなくして真の国際化はあり得ないはずである。そういった意味において、一般の家庭にその家族の一員として、一ヵ月という時間を共にできたことは、非常に有意義なものでした。よく言われるように、こういった個人レベルでの交流こそが、現在、そしてこれからの世界に求められるものだと思います。

雑誌やテレビでは体験出来ない、貴重な機会を与えて下さり、多大なる御支援を頂いたことに感謝申し上げます。

## アメリカ・ネブラスカ州 「YEプログラムをおえて」

NE-6 小松原 学 (SP.C東金LC)

ネブラスカは、“本当のアメリカ”という感じで、私がホームステイさせていただいたヘブロンは、みわたす限りの草原と、まっすぐなハイウェイがあって「アメリカだなあ」とつくづく思いました。また治安も非常に良く、自転車はカギをかけないし、家のカギもほとんどしめませんでした。日本よりも治安が良いのでは？と思うほどです。

私(北海道の青年も一緒だった)を引き受けてくれたホストファミリーは、Retzlaff家という、とてもにぎやかな家で、チーズ工場で働くDADと病院の栄養士をしているMOMと2人の男の子と2人の女の子がいました(長男以外の3人は、養子として受け入れたと長男のエリックが言っていました。)両親が共働きなので、私たちの役割は家事が主でした。

ここのお宅は、私達を客としてではなく家族としてみてくれました。掃除をしたり新聞配達をしたり、旧家をFixするのを手伝ったりと、はじめは「何でこんなことまで」と不満がありました。が、だんだんと充実感がでてきて、今ではアメリカの実生活をさせてくれたたRetzlaff家に感謝しています。他の家だったらこんなにたくさんの経験ができなかったと思います。

あとアメリカに行っておどろいたことは、とにかく湿気がないということです。日ざしはカンカンなのに“ムワッ”としてなくて、“サラッ”として、しかも風が冷たく外にクーラーが



あるかのようでした。

その他にも生活に必要なものが安いには、おどろきました。日本もまねしてほしいと思いました。

そして、私がアメリカの文化から学んだことは、言葉を交わすということです。知らない人とでも「Hi!!」と声をかけあうのは、とっても気持ちがいいし町が明るくなります。

日本に帰ってきた時、今まであたりまえのようにあったそれがないので、日本人同士なのにとってもよそよそしく感じられました。日本にもこれを普及させたいです。

この度のホームステイは大変有意義なものでした。他の国から見た日本、アメリカの文化、自然、経済など色々なことを学びました。そして何よりの収穫はたくさんの人達と触れ合えたことです。そしてこれからの経験は自分の視野を広げてくれ、これからの人生に大きな役割をしたいと思います。現にあんなに遠くに思えたアメリカが今では、身近に感じられます。物事を世界レベルで考えられる日まで、そう遠くないと確信しました。

## アメリカ・ネブラスカ州 農場の草刈り等 素晴らしい経験をした

NE-7 日下部 学 (SP.C成田平成LC)

アメリカ合衆国ネブラスカ州エルムウッドという聞き慣れない州ですが、アメリカの中西部というよりも中央部に位置しています。主な都市は州都のリンカーンとオマハです。エルムウッドという町はちょうどその中間に当たり、どちらへも車で1時間ほどで着きます。

次にホスト家庭についてですが、結局僕は1つの家庭にずっとお世話になりました。いわゆる単独ホストでした。ホストの家族構成はおじさん、おばさんの2人で、2人ともライオンズクラブのメンバーでした。町の中でした。でも町の外の農場の中の息子さん夫婦が住んでいました。

ライオンズクラブの例会にも2回出席しました。1回目はエルムウッドの中でのパーティーみたいなもので同じ町に同じライオンズクラブ派遣生として来ていたフィンランドの女の子2人といっしょに招待されました。2回目はネブラスカシティまで出



かけて行きました。こちらのほうはホテルの食堂のような場所で食事をしスピーチをしました。

ホスト先でやったことはとにかくたくさんあります。おじさんと息子さんと農場をしているのでその手伝いとして、草刈りを手伝ったり、おばさんが花屋さんを経営しているのでその手伝い。また、ダウントウンはローラースケート場があってそれではたくさんの子供たちと仲良くなりました。ネブラスカには湖がたくさんあるらしく、そこで水上スキーもやりました。他にも教会に行ったり買い物に行ったり、引越しの手伝いなど

あげたらきりがなくらいです。

ホスト先の人、町の人もみな親切で、やさしくすごく楽しかったです。

心配していた英語も最初の1、2週間はやはり苦労しましたがだんだん慣れるとコミュニケーションをとるのには不自由な

い程度にはなりました。

この夏、ライオンズクラブのスポンサーによってしてきた経験は僕自身すばらしかったと思うし、本当に行って良かったと思います。

## アメリカ・ネブラスカ州 「異文化の価値観に触れて」

NE-14 松森奈津子 (SP.C 柏オーケLC)

私が今回滞在した家は、アメリカ合衆国北西部、ネブラスカ州にある。ステイ先の決定後、いろいろと調べてはみたが当地に関する情報はほとんどなく、“ビーフとコーンの地”程度の知識しか持たずの訪米でした。確かにその通りで、滞在宅は周りには一軒の家もないとうもろこし畑の真ん中であつたし、牛はあらゆる所で見られた。ただ、それ意外にも、農産物ではビーン、マイローがコーンと並んで有名で、動物では豚、馬、鹿、バッファロー、うさぎ、りすなどが頻りに現れる。

これもひとえに、滞在宅が州都リンカーンからは100マイル(車で2時間)、最寄りの町ではヘブロンから6マイル(同20分)、デシュラーから2マイル(同10分)という辺境地帯にあつたからかもしれない。事実、車でなければどこにも行けず、とてつもなく広い土地。昼は絵に描いたようにまっ青で、夜は降り注ぐような星で覆われる空。どこまでもまっすぐに続く道。この大自然の中では、日頃忘れがちな人間本来の無力さと微小さを痛いほど味わうことになる。

ここはまた、治安も良く、人々は親切だ。実をいうと私は渡米にあたり、治安に過度に神経質になっていた。なにしろこの年にもなつて初めての海外旅行だったため、アメリカ=治安が悪い=怖いというステレオタイプの図式ができていて、道中、不安と緊張でピリピリしていた。ホテル泊のロサンゼルスでは、「部屋にいてもドアの向こうからピストルでズドンだよ。」と危険さを強調する友人の脅し言葉を鵜呑みにして、その恐ろしさから一睡もできなかつたくらいである。そのため滞在宅に到着するやいなや、安心感から丸一日寝込んでしまうという有様だった。それはともかく、デシュラーもヘブロンも、ほとんどの人が顔見知りで、日本以上に安全なのは新鮮な驚きであった。

滞在先のサイモンソン一家は、ネブラスカ州では主流派のドイツ系移民である。ファザーはルター派教会の神父、マザーはカウンセラーで、共働きと家事分担がごく自然に行われているのが印象的だった。しかも、食器洗いや洗濯は全自動、掃除機はかけず、食事も簡単なものが多いので、もともと女性の負担が少ない。家庭は大家族で、主義は保守的だった。子供は、実子の娘トーシャ(26才)以下は養子で、ネイティブアメリカンのステイシー(24才)、黒人の血を引くカート(23才)、ネイティ



ブのスー族の末裔ジャッシュ(19才)、黒人のグレン(15才)。このうち上3人はすでに結婚して家を立てている。結婚年齢は早く、私が独身と知ると驚いていた。しつても厳格だろうと思いきや非常に甘く、子供達は年よりも幼く感じられるほど、実にのびのび育っている。その他、クリントンやフェミニストを嫌悪し中絶には断固反対という彼らと、自分の想像していたリベラルなアメリカ家庭とのギャップの著しさに戸惑うことが多かった。

もちろん、日曜ごとの礼拝と食事ごとの祈りは欠かさない。私は大学がキリスト教系ということもあり、欧米の宗教観や宗教礼儀にはなじみがある。しかし、宗教が生活の中で最も重要な位置を占める彼らには、日本人の曖昧な宗教観は全く予想外のもので、理解し難いようだ。宗教に限らず文化全般にわたり、私達にとってアメリカは非常に身近だが、彼らにとって日本はトヨタやニンテンドーの商品イメージでしかなく、中国の一部とさえ思っていた。そこに“日本の片思い”を感じたが、それゆえ私達の思想や行動は即日本人の典型として理解されがちだ。個性的な変わり者と言われるほど同世代の女性とかけ離れた感覚・価値観を持つ私が、偏った日本人像を伝えていないことを願う。

いずれにしても、この暖かい家族ともう一人のYE生の美和(ダブルホストのため)とに囲まれ、また元来の適応能力の強さも手伝って、一度も日本や日本食が恋しいと思わずに過ごせた。そして別れの日には、自分でも驚くほど涙がとめどもなく流れた。

私の今回のホームステイの動機は、いわゆる語学力向上のためではなく、異質の文化と価値観を持つ国を実際に訪れ、その感覚を自分の五感でつかむためだった。だいたい、一か月やそこらの滞在で語学が上達するはずもない。私のこの、異文化に接して視野を広げたいという目的はおおむね達成された。「百聞は一見に如かず」とはよく言ったもので、机上の学問では到底

えられないような貴重な経験をし、多くの見識を得た。それは日々の生活の中でももちろん得られたが、とりわけファザーとの宗教、政治、経済、文化など多岐にわたる対話の中から吸収

できた。私のつたない英語にもかかわらず、様々な話題から一個のアメリカ人の思想を教えてくれた彼に感謝したい。

## スイス 多くの興味深い質問を受けた

S-2 下福文野 (SP.C船橋ポートLC)

7月16日から8月26日までの約6週間 Lions Youth Exchangeでスイスに行ってきました。

昼間は、家族と湖や美術館へ行ったり、一人で街に行って散歩をしたり。(電車やバスの乗り方は意外と簡単なので便利) ZurichやBernにも行き古い建物などをたくさん観ました。

最後の家族はLuzernに住んでいるの初めてLuzernに行った時驚いたのは、日本人観光客の多さです。もちろん他の場所でも日本人に会いましたが、それとは比べものにならないほど街のいたる所に団体の日本人がいました。念のために聞いてみるとLuzernにはほとんど日本人は住んでいないそうです。そして観光をかねて、Luzernに結婚式を挙げに来る日本人がとても多いそうです。私は“なぜ日本人は結婚式だけのためにスイスまで来て、3日もしないうちに日本に帰るのか?”と聞かれ説明に困りました。

この他の興味深い質問は…

- ・挨拶のキスについて(キスをされて私がとても戸惑ったから)
- ・麻薬について(スイスで今深刻な問題になっているので)
- ・離婚について( )
- ・日本人の労働時間について(家族で過ごす時間はあるのか)
- ・きものについて(結婚式の写真を見たらしく、日本人は着物を着る時いつも顔を真っ白にするのか?)
- ・ジョークについて(外国人はよく日本人をジョークのネタにするが日本人はどの国の人をジョークのネタにするのか)

etc…

どの人も日本に興味を持っていて、いろいろな質問を受けました。私が感心したのは、他の国にとっても興味を持ちながら、やっぱり自分の住む国が一番好きだと胸を張って言えることです。今回スイスに行ったことで、いろいろな貴重な体験ができました。スイス、それに他の国の良さがよくわかり、日本について、自分についても考える時間になりました。

とても充実した生活ができた6週間でした。

about Town



私の行った主な街はST, Moritz, Davos, Zerne, Poschiavo, Churです。

どの街も周りを山に囲まれていて、落ちついた雰囲気。

街のいたる所にKIOSKがありとても便利だった。

どんなにちいさな銀行でも日本円をfrに変えることができた。郵便局とポストもたくさんあり、切手はポストの近くの自動販売機でも買うことができるのに驚いた。

その他

- ・私たちは2度イタリアに行きました。しかも2回とも歩いてです。ほとんどフリーパスのようなもの。みんなでズロズロと歩いて国境を渡るのはとても不思議な感じがしました。
- ・日中どんなに疲れてもみんなホテルに帰ってからまだ遊びます。夜は毎晩のようにどこかの部屋でパーティーが開かれ、そのまま皆でディスコに行って、寝るのは2時や3時!!
- ・みんな日本に興味をもって来ていて、生活の様子やおり紙の折り方、簡単なコトバをたくさん聞かれました。

このキャンプは私にとって本当にすばらしいものでした。

みんなと友ダチになれて、お互いの国のコトを教え合い、このキャンプに参加できたことをうれしく思います。

3家庭にHomestayをしました。それぞれの家庭でスイスの生活の様子を体験できとても興味深かったです。

どの家でも家族で話す時は、スイス-ジャーマン(ドイツ語の方言)を使います。スイスではドイツ語圏にある学校は英語より先にフランス語を教えるのがほとんどだそうです。その後英語やイタリア語などを学ぶ人が多いので、3.4ヶ国語を話せる人がほとんどなのにとっても驚き、それとともに私にとってショックでした。

## フィンランド 印象に残った、 フォストファミリーとの一週間の旅行

FN-5 磯野優子 (SP.C房総勝浦LC)

外国へ行くのは、今回が二回目でした。一回目の時は、学校の「語学研修」という形でしたので、日本人の友達となに不自由なく好きな時に日本語を使ったり…と“研修”というより“観光”といった感じで過ごしていました。しかし今回は一人なのです。でも、ヘルシンキ空港までたくさんの日本人（他の地区のライオンズクラブメンバー）といっしょだったのでなんの不安もなく前回行った時のように気楽に考えていました。ところが突然ヘルシンキ空港からあなたは一人でヨエンスー空港まで行って下さいと言われた時はもうどうなるかと思いました。一人で飛行機に乗った事がないし、しかも異国の地で…。ここではじめて「一人なんだー」と実感しました。国内線の小さな小さな飛行機に日本人一人で…しかも大きく揺れる…とても不安になりました。ヘルシンキから約一時間、ヨエンスーという空港に着きました。そこで初めてホストファミリーのパパとママに合いました。大歓迎をしてくれたけどペラペラと英語で話されて旅の疲れのせいか又は、不安さで、何を言っているのだろうわからない、この先やっていけるだろうかなどとても不安になりました。ヨエンスー空港から車で一時間、私が40日間お世話になるというリエワサという町に着きました。とても静かで森や川がたくさんある素敵な町でした。私のホステファミリーは一家庭までお父さんとお母さんと17才の女の子と19才の男の子でした。おとうさんは会社の社長で働きもの、家にいる日はあまりありませんでした。でもとても優しく、楽しい人でした。お母さんはビジネスカレッジの先生、彼女もまた優しく楽しい人でした。17才の女の子ミナと19才の男の子、ミコは私と同じ映画をみる事が好きでよくお風呂あがりには毛布を持ってきて寝ころがりながらビデオ鑑賞したりしました。あと、北ヨーロッパといっても7月はとても暑く、3人で穴場!?とてもきれいな場所に泳ぎにいったりしました。それからフィンランドといえばサウナです。(サウナの発祥地)どの家庭にも必ず一つはあって、どの家庭にも必ずサマーコテージといって、別荘みたいなものを持っていてそこにもサウナは付けてあるのです。

ミナとミナの友人のサマーコテージへ行った時、生まれてはじめて、サウナに入りました。そして熱いノと感じたらすぐ前に広がる湖に飛び込むのです。

これを何回も繰り返す事がここでの遊びというか…フィンランドのサマーライフを120%楽しむことができました。又その後、炭で焼いたたった一本のソーセージがたまらなくおいしかったのを覚えています。

私はここフィンランドに来る前、目的の一つである大自然の



中を大好きな馬に乗る!!という事を実現したくて頼んでみるとたまたまミナの友人の知り合いが持っているというので乗せてもらうことができました。はじめのうちは友人が馬をちゃんとおさえていたけどそのうち「一人で乗ってみる?」なんて言われて、ほんの数メートルだったけれど大好きな馬に一人で乗ってるんだって、すごく感動しました。日本ではできないのでとてもよい経験をさせてもらいました。

それから保育園、老人ホーム、高校、お母さんの働いているビジネスカレッジなどにも見学に生かしてもらいました。とても緊張したけれどフィンランドの学校はこういうものなにかというのを知ることができました。フィンランドの人達は日本人と同じとてもシャイ。でも一度溶け込むと、とっても親しみやすくてたのしい人ばかりでした。私はいろいろな学校へ見学させてもらったのでたくさんの友達を作ることができました。また、金よりの夜など、若者がいっぱい集まる町の中心地の連れていってもらって、はじめてディスコとか行きました。小さな田舎町のせいか、いっぱい若者やよっぱらいがいてもとても安全で、びっくりしました。

40日の間毎日が楽しかったけれど、特にホストファミリーと一週間、旅行したのはとても印象に残っています。はじめ、お母さんとミナと私の三人スウェーデンに行きました。(一日)その後、すぐフィンランドに戻ってナンタリとトゥルクという町に行きました(一泊)その後、ヘルシンキでお父さんとミコに合流、ここで5日間滞在しました。日本料理店に連れていってくれたり、ヨーロッパアンチチャンピオンシップを見に連れていってくれたりとても楽しかったです。

はじめの、あの不安さはどこへやら…別れの前日には学校などで友達になった子たちが、みんな集まってくれました。こんな短期間で、しかも言葉も深くかわせないのに人と人はこんなにまで通じあえるんだなって思いました。みんな日本が大好きでいつか日本へ行きたいって言っていました。日本ってきれいな国なんだよねとも言っていました。日本のどこがきれいなだろう、フィンランドの方が森や湖がたくさんあって、よっぱどきれいだと思うのになって思っていたけれど、日本にもいい所ってたくさんあるでしょうね。彼女たちに会って日本のよさを知る事ができました。

## オランダ 視野が広がり人生が変わった

H-4 吉井亜希子 (SP.C房総朝夷LC)

オランダに着き最初の3週間私は“Land of water”というユースキャンプに参加した。22カ国から40人のYE生が集まった。第1週は、オランダ南部のある町に40人のキャンパー達がホームステイをしながらキャンプのプログラムに参加するというものだった。ほとんどがダブルホストであった。第2週目は、バスウィークと呼ばれバスで毎日観光し、毎日違うホストファミリーにお世話になるというものだった。これは体力的にとてもきついものだった。朝夕バスのトランクからスーツケースを出し入れし、それをホストファミリーの家へもっていかねばならなかったからだ。そしてあちらの人は河や水路のような所でもよく泳ぎ、(あちらの人は湖というのが日本人の感覚ではため池のようなもの。河も水路といった感じ)よく泳いだりボートセILING、ローボートをローイングしたりカヌーをしたりしたので疲れた。これは私の体力の問題ではなく、他のキャンパーも同様でみんなバスの中で寝たり、観光案内をしてもらっている最中、座りこんだりしていた。多くのものを見せてくれようとしていたり体験させてくれようとしているのだが、とてもスケジュール的にはハードだった。あちらは日本より高緯度なため、日没が10時半頃だった。そのため夜も10時~11時、時には12時半までスケジュールが入っていてつらかった。第3週はキャンプサイトでのキャンプ生活だった。設備もとても良く、しか



夕飯は毎食レストランでのディナーだったので快適だった。このキャンプサイトでの生活もスケジュール的にはハードだった。Droppingで夜中にある村にバスでつれていかされて歩いて帰ってきたのが3時とか4時半。キャンプ中に2人誕生日を迎えたキャンパーがいたので夜の12時からパーティーをやったりとやはり体力がものをいった。正直つらいと思ったこともあったが、最後には終わってしまうのがとても悲しくみんな泣きどおしだった。多くの友人ができすてきなキャンプであった。キャンプ後のホームステイは日本人の女の人とダブルホストでしかもその近くにもう2人日本人がホームステイしていたので行動はいつも一緒だった。すこしつかれてきていた頃だったので、日本語を話したい時に話すことが可能なその状況は精神的に落ちついた。最後の2週間もすばらしい滞在生活をおくることができ満足している。オランダでの生活を一生忘れないだろうし、そこで得た人間関係をずっと大事にしていきたい。

## ハンガリー ホームステイでの 体験レポート

HU-1 石井靖江 (SP.C木更津中央LC)

私は、この夏休み、7/20~8/29まで、ハンガリーにホームステイしました。

行く事が決まる前まで、私はハンガリーという国がどこにあるのか余りわからず、ハンガリーはハンガリー語でして通じないと思っていたり、そのうえ私は、英語が上手ではなかったのととても不安でした。

ハンガリーに着いて、7/22~8/4まではライオンズクラブのキャンプに参加しました。キャンプには、15カ国の人が参加し、全部で約30人の人と2週間、共にくらしました。国は、スイス、ドイツ、オランダ、トルコ、イスラエル、ノルウェー、スウェーデン、イギリス、ハンガリー、日本です。みんな英語がペラペラで、どのくらい勉強しているのか聞くと、2、3年という人がほとんどで、とても驚きました。日本では、義務教育の中で6年も英語を習っているのにどうして、こんなにも違うのかというと、



みんなの英語の授業は主に英会話が基本で、読み書きよりも話す事を重点的にやっているそうです。しかし日本は主に、読み書きで、英会話という授業ではありません。私が、外国へ行ってみてわかったことは、まずは話せなくてはならない、聞いて理解しなければならぬという事です。教科書の例文をただ訳している日本の教育方針は今後の日本の国際化に向けて、とても足をひっぱっていると思いました。そして、他に驚いた事は、レディ・ファーストです。部屋の出入り、食事など、いろいろな事に対して私たち女の人の男の人は優しくしてくれます。日

本の男の人は、男は偉い、女は黙ってついてくればいって考えの人は多く存在しています。子供の事や家事もとても夫婦で協力しており、本当に日本の男の人に見習ってもらいたいと思いました。

このホームステイで体験したことは、ずっと忘れないでしょ

う。キャンプでたくさんのお友達をつくったこと、別れがとてもつらくみんなで泣いてしまったこと、ホストファミリーの親切なパパとママ、ハンガリーの人の心の温かさ…。本当にいい経験をしました。

## ポーランド POLANDOを訪ねて

PO-1 谷田恵美 (SP.C成田LC)

まず、YE生としてPolandに行くことができ、本当に良かったと思っています。私は昨年、Polandから来ていたYE生と知り合い、彼女のスポンサークラブ (Katowice LC) の招待ということでPolandに行きました。私がPolandにいる間ほとんど彼女が世話してくれました。そして約2/3は彼女の家庭にStayしていました。そういう点で、他のYE生とは少し違っていたと思います。

行きは、Wien経由でPolandまで約16時間かかりました。Wienまでは友達と二人だったので、何も心配なかったのですが、WienからPolandまでの飛行機に1人で乗った瞬間「ああ、本当に来ちゃったんだなあ。」と実感して、不安になりました。でも空港で友達 (Polandの) に会ったら、少しホッとしました。

言葉に関しては、英語圏以外の国に行ったのが初めてだったので少し不思議な感じでした。Poland語は全然わかりませんが、帰って来る頃には20Wardsぐらいは覚えられました。英語は13才~ある程度若い人たちは話せる人が多かったです。話せる人は日本人よりも上手な人が多くて、話せない人は全く話せないという感じでした。言葉の面では、ほとんど不自由しませんでした。私自身の英語は、少しは上達したかなあという程度でした。でも、もう少し勉強しておけば良かったなあと思いました。

食事は、主食はじゃがいもでした。日本のごはんのようにポテトを食べていました。私は元々じゃがいもが好きなので、別に困りませんでした。少し困ったのは食事の時間帯が日本と全く違うことでした。少し遅めの朝食を取り、Lanchは食わずに4時か5時頃Dinnerを食べます。そして、8時、9時にSupperを



食べるのです。それから、お水に困りました。普通にWaterというとSoda Waterのことをいうのです。私は日本でいつも炭酸水を飲まないで、Mineral Waterを探して飲んでいました。それ以外は何でもおいしく食べられたし、何の問題もありませんでした。

それから、一番びっくりしたのはお金のことでした。聞いてはいたのですが、こんなにも違うとは驚きました。Polandはヨーロッパの中でも特に、物価は安いそうです。でも本当に全ての物が日本の半値以下なにとってもRichになった気分でした。物によっては1/5とか1/7ぐらいの値段の物もありました。でもその分ポーランド人の月給は日本人に比べて、はるかに少ないそうです。だからPolandの人が日本に来ることはとても大変なことだそうです。

最後に、Polandの人たちは、私にとっても親切にしてくれました。誰もが日本に興味を持ち、いろいろな事を聞いてきました。そしてみんなとてもFriendlyで、温かい人たちばかりでした。私は、Polandにたくさんの友達を作ることができました。それが何よりも一番うれしいことです。別れる時は、本当に本当につらくてさみしかったけれど、いつかまた会えると信じています。そして、YE生として、Polandに行ったことは、私の人生の中で誇れる経験の1つです。

## 東南アジアフォーラム、タイ・バンコックで開催



12月1日から4日まで、タイのバンコック市で東南アジアフォーラムが開催されました。333-C地区からはL江畑耕作ガバナー・L矢田常吉顧問会議長・L長島彪名誉顧問夫妻・L林静誠副地区ガバナー他40名が参加し、グリマルディ国際会長・タイ国来賓・国際理事・各国地区ガバナー他大勢の列席のもと開催されました。

シリキット王妃国立会議場は満席で参加者は通路・ロビーとも人だかりでいっぱいでした。次回34回東南アジアフォーラムは香港で、1995年12月7日から10日まで開催されることになりました。

# 1994夏期来日生報告

## 来日生、スウェーデン

*Sweden*  
SWJ-11 Larsson MAGNUS

私はマグナス ラルソンです。17歳でスウェーデンから参りました。7月4日に日本に着き、今日で6週間になります。最初の3週間は柏の石和田家で過ごし、最後の3週間は佐原の大崎家でお世話になっております。

私は素晴らしい毎日を送っており、東京タワー、浅草、日光や、ライオンズのサマーキャンプ等を楽しみました。世界各国から来日している人達とも多くの友達になることが出来ました。



そして本当に私自身、楽しく1月半を送ることが出来、感謝しています。有難うございました。

## 来日生、スロベニア

*Slovenia*  
SLJ-5 Kdriya SRAJ

私は、日本に行こうとは本当に思っていなかったのですが、それはよいチャンスなので、行きたいと私自身答えました。そして、この滞在が非常に楽しいものになり、幸せに思います。

皆がそうであるように、日本は、どんな国で、また日本人はどんな人たちだろうなどと考え、少々意外なことがあるのではないかと思います。

最初の数日は、コミュニケーションが少しくまらなかつ困りました。旅行者にたいして日本はもっと良くめんどろをみるべきだと、時には感じたこともありました。見たい本当に興味があることや場所があったからです。そのようなことを聞く事が出来ませんでしたし、私に答えてくれる人がいませんでした。それが初めの印象です。

私は、病気になり病院に行かなければならなくなり1週間くらい過ごしてしまいましたが、とにかく、たくさん興味のあるものを見ることができました。特によかったのは、京都です。私は、古い伝統的なもの、京都の歴史、文化そうした物が好き

です。残念だったところは、東京です。見るものがいっぱいあったと思うのですが、例えば皇居、外からしか見られないし、中には入れないなど。でも、東京に住むおうぜいの人々（スロベニアの全人口の5倍以上）、高層ビルに興味を持ちました。京都と東京の他に、鴨川シーワールド、野田の醤油工場、木更津の房総の家などを見る機会を得ました。富津と木更津から富士山を見ることが出来ました。山の方のキャンプに2日間行きました。

着物そして浴衣を着るチャンスさえありました。ヤッサイモッサイを踊り、みこしを担ぎ、剣道などを見ることができました。このようなことが日本の生活を理解する良い助けになりました。

私は、こんな暖かい歓迎に本当に驚きました。私の国では、皆が日本人は冷たい人たちだと言っていたからです。日本に来る前に思ったことからすると、日本および日本人はとても素敵です。私はいつの日か日本にまた是非来たいときえ思っています。

日本での大変親切なもてなしに、素晴らしい時を過ごさせていただいたことにそしてホームステイ中お会いした皆さんに感謝をしたいと思います。もちろん、3つのホスト・ファミリーとライオンズ・クラブメンバーの方々に特に感謝を申し上げます。



## 来日生、ポーランド

PO-1 Krzysztof KOTLIKI

私は日本に訪問できたことを大変、誇りに思っております。私は来日した日から今日まで多くのことに驚いています。本当の日本を見る努力を私はしましたが、一ヶ月間はあまりに多くのものを学び取ることは出来なかったと思います。私は日本の神社仏閣や東京の近代的な街並みにも感服しました。

また私は日本の食べ物都非常に素晴らしいということにも気が付きました。ナイフやフォークと同様に箸を使って食べるということにも驚きました。

日本人は大変親切で優しく友好的であるということも大きな発見で私達の国民以上であると思っています。

私の二つのホスト家庭は私の事を本当の家族の一員として滞在中、扱ってくれました。二つのホスト家庭は出来得る限り多くのものを私に見せてくれるよう気を遣ってくれました。お陰で私の訪ねた所は成田山、日光、富士山、東京見物等と素晴らしいものばかりでしたので帰国したくありませんでした。日本



は偉大な国で伝統的で且つ最新の技術を持っていると思います。ある時はこの古い伝統と最新の技術がミックスし合って不思議と思うこともありましたが、後でこれは進歩していく過程の当然の姿と感じとれました。出来ればまた日本に来たいと思っています。多くの世界の人達で異国的で斬新になっている日本にライオンズクラブのYEプログラムに依ってYE生として来日出来たことを心より嬉しく思っています。

ホスト家庭の皆様はじめライオンズクラブのメンバー方々に言い尽くせない親切を私は受け心から感謝申し上げます。

## 来日生、ハンガリー

HU-1 Eva VIDA

私は、日本をどう思うかと聞かれますと、この国をよく理解するには期間がみじか過ぎますし、しっかりとした印象はまだ得られていません、またこの1ヶ月千葉県におりましたので、お答えするのは大変難しく、悩まされます。

この旅行は、私にとって今までで一番大きな旅行です。私自身努力し、トライしました。大勢の人々に会うことが出来ました。また日本の生活の仕方に大変興味をもちました。ハンガリーやヨーロッパとの文化ととても違うからです。このことについて沢山、経験が出来ました。

また、日本のこと地方のいろいろな場所へいきました。鎌倉、横浜、富士山、鴨川、佐原、そして、東京です。

東京は、特別な近代的な大都市だと思います。東京の人口が

ハンガリーの人口と同じですし、本当にショックでした。そしてまた、人混みに驚きました。

ビル群は、まさに、ニューヨークの摩天楼に似ています。これは日本の文化を表しているとは私には思えませんし、むしろ、どちらかと言うと田舎が日本的だとも思います。

ホストファミリーはホームステイ中ずっと、とても親切に、色々して下さいました。私は、本当に幸せでした。色々な料理や生活習慣を日本的な家に住んで、トライすることが出来ました。

4年間私は日本語を勉強していましたし、それは、とても有益でした。日本に関する知識を生かす機会もありました。また、新しい言葉も、そして表現方法もたくさん覚えました。

最後まで私にお力添えを下さったライオンズクラブの方々に感謝を申し上げ、また、二つのホストファミリーにもあわせて感謝を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。

## 来日生、台湾(中華人民共和国)

RC-J-13 杜 宜真(Tu yi-chen)

今回が最初の来日でしたのでとても緊張し興奮もしていました。何と云っても海外の旅は初めてのことでしたし初めて東京を見、東京のホテルに宿泊しましたが素晴らしいの一語です。初日は台湾に居るのではなく東京にいるということが信じられませ

んでした。2日目は東京ディズニーランドに行き、すべて行くところのデザインは大変美しく遊園地地帯は非常にスリルがありました。私の第一ホスト家庭は、ベイ・ブリッジ、円覚寺、建長寺、シーパラダイス、我孫のお祭やマーケットに連れて行って下さり特にお祭りでは私にとって初めての浴衣を着せてくれました。私は日本人は大変、礼儀正しく、優しい心の持ち主であると感じています。私は英語を話したり、英語を書いて(筆話)ホストファミリーと会話をしていました。

第二家庭では二匹の猫と一匹の兎を飼っていて室中、駆け廻っていました。清水公園、浅草、浜離宮、東京タワーに連れて行って貰いサマーキャンプで富津岬や富津公園、新エネルギーパーク等を見て来ました。私は友達が沢山出来ましたか皆、私と異なる外国の人達です。

第三家庭では水族館、地下鉄、歌舞伎、百貨店や原宿に連れて行って貰いました。日本で私は多くのことを学び、多くの印

象に残る所へ行きました。最も大切なことは私を受け入れて下さった家庭の家族の方達への感謝と私を大切にもてなして下さい色々な事を教えて下さり、素晴らしい3週間でした。お蔭様で私は大変幸せでした。私を受け入れて下さった三家庭に心から御礼を申し上げます。と同時に私を接待して下さいました柏ライオンズクラブの方々に感謝いたしております。

## 来日生、カナダ

Canada  
ABJ-3 Jarrid KOLODNICKI

日本での生活は私にとって素晴らしい体験でした。あまりにも暑かった気候のことを除いても私は日本が嫌だと思った事は一つ丈ではありませんでした。

日本での私の体験に感謝して私の記録簿に別なキャリアとして加える積りです。

さて、私は日本で森林警備隊員かロックスターまたは英語教師になりたいと思います。多分、私が3年か4年間日本語を勉強したなら皆さんが英語を話す代わりに私が日本語を話すことが出来ると思います。

私のホスト家庭はこの6週間、私の為に変な忙しい思いをされ

たことと思っています。お陰で私は多くのお寺を見、多くの博物館や2・3軒のバー、そして旅行者のアトラクションに度々行くことが出来ました。若しカメラで撮影していなかったら私の行った所の何か所かは忘れてしまう程、数多くものを見せて貰いました。ライオンズクラブが私にして下さったことは大変素晴らしいものだったと思っています。私は友人にライオンズのYEプログラムで日本へ行くよう奨励する積りでいます。

2~3年したらまた私は日本へ戻って来たいと期待しています。私が過ごしました日本での人生経験に対して充分にライオンズクラブに感謝の言葉を申し上げることが出来ませんが、日本で得た多くの体験や日本と日本人についての多くの良い事を帰国して伝えたいと思います。もう一度、私のこの夢のような休暇を作っ

て下さった方々に感謝いたします。

## 来日生、カナダ

Canada  
AAJ-9 Stuart WILSON

日本滞在中に私を受け入れて下さったライオンズクラブの方々に先づ御礼を申し上げます。まさに最高の滞在であり、また必ず戻って参りたいと思っています。

帰国すればきっと日本で体験した数多くのことが懐かしく思い出されることと思います。

特に焼きそばやお寿司、日本の箸や日本のご飯のこと等が恋しくなるとは思いますか同時に日本で知り合った方達と一緒に過

した日本の友達も思い出されて恋しくなるとは思います。

けれども言葉の違いは大変なことで特に、私達は理解に苦しみましたか熱心に何度も努力して分かり合えたと思います。

皆が私に質問されたことは、あなたは日本の女の子が好きですか？ということでしたが私の答はイエスでした。本当にお世話になった方に御礼を申し上げます。素晴らしい日々を送ることが出来ました。

機会がありましたらまた日本に来て日本の生活習慣や教養と日本語を学びたいと心から思っています。

本当に有難うございました。

## 来日生、スイス

Switzerland  
SJ-2 Bueche Buechel:Sandra PASCALE

まずはじめに、私に日本に来る機会を与えて下さったみなさんに感謝します。特に2つのホストファミリーの皆さんはこの1ヶ月間、私にとってとても素晴らしく、一生けん命接してくださいました。どちらの家庭でも、私は家族の一員になった気がしました。おかげ様で、私は日本の文化を学び伝統にふれることができ

ました。本当にありがとうございました。

7月10日に日本に着いた時、私は日本についてほとんど何も知りませんでした。日本は、高度な技術でもって将来に向かって一方、人々は古い文化や伝統の中で生活している国だと思いました。他の近代的な国のほとんどは未来を考えているだけで伝統を忘れがちです。だから日本はこの良き伝統をこれからも守ってほしいと思います。

この近代的な日本において一番驚いたのは国際電話のできる公衆電話がほとんどないことです。それにスイスにコレクトコー

ルがかけられないのはどういうことでしょうか。緊急の時はどうするのでしょうか。

ホームステイ中のサマーキャンプも、世界中に友達がつくれるので、とても良いことだと思います。しかし文化交流や、友達づくりには2泊というのは少し短すぎると思います。キャンプに来ていた会員の意見です。

Youth Exchangeのプログラムは良く構成されて、準備されていると思いますが、次からはもう少し生徒の受け入れ先を早く知らせてあげるようにして下さい。私のように日本に着くまでわからないというのはとても不安なものです。

それから私たち生徒は英語は話せますが、日本語は理解ができないことを忘れないで下さい。より良い交流を目指す上でお互いを理解しあい伝え合うことは必要不可欠です。だからホストファミリーを選ぶ時は、家族の誰かが必ず英語を話すことを確認してほしいと思います。私は日本の文化について色々な質問があっても聞けないことが多かったのです。

今、私は忘れられない日本のふたつの家族といろんな素晴らしい経験や思い出を持って、スイスに帰ります。ライオンズクラブのYouth Exchangeのプログラムは本当に良いものだと思うので、これからは是非続けていってほしいと思います。そしてど



なたかスイスに来たいという人がいれば、私の家族をたずねて下さい。

みなさんは私に本当に良くして下さいました。どうやってお礼を行ってよいかわかりません。私はこの素晴らしい一ヶ月をずっと忘れないでしょう。もう一度この忘れられない経験を与えて下さった皆さんにお礼を言います。新日鉄、東京湾横断道路、京都、東京、お寺や神社、ほんとにたくさんものを見、学びました。

最後にみなさんがして下さいだったこと全てにありがとうございました。

サンドウラより

## 来日生、ベルギー Belgium BJ-6 Gaetane GHYS

7月9日私達ベルギーのYE生は成田に到着し日本の教養と生活を体験する為に6週間滞在しました。皆、共々、全く異なった日本での生活体験をしていることは知っていました。私の第一ホストは、熊中家で一緒に生活をいたしました。すべての日本での体験は初めてのことばかりで先づ箸を使って食事をしたことも初めてですし、布団で寝たのも初体験でしたが、その他いくつもございました。多くの観光にも連れて行って貰いました。東京見物、富士登山、成田山、日光等でした。

私は茂原長生LCの例会に出席して大変興味ある体験をしました。初めて寿パーティーと日本のカラオケでした。またライオンズクラブのメンバーと一緒に鴨川シーワールドに行きました。

他のYE生と柏LCのメンバーが東京ディズニーランドに連れて行ってくれました。7月21日私は第二ホスト家庭に移動しました。鎌ヶ谷LCの西峰家で大変、素晴らしい日と一緒に送りました。とても友好的で私に優しい人達でした。東京タワー、銀座、鎌倉、筑波山等、多くの所へ連れて行って貰いました。

7月27日から28日までは柏レオクラブのサマーキャンプが旭でありましたので参加しました。海岸でのバーベキュー、花火大会、キャンプファイヤー等があり盛大なキャンプでした。翌日は日本の醤油工場も見学して参りました。

7月29日から31日までライオンズのサマーキャンプで富津岬

に行き他の来日YE生と大変楽しく過ごすことが出来ました。特にライオンズのYE委員の方々とYE013生が計画された開会式での日本語による自己紹介、親睦パーティー、浴衣でのパーティー、スウィミングプールそしてエネルギー工場の見学等は私達の為のもので、大変嬉しく思っており、楽しませて頂き、このキャンプでの思い出は一生忘れることが出来ないと思っております。

最後の週間は横浜、鎌倉に行きテニスやゴルフ、野球、ボーリングをして楽しみました。お土産を買いにホストファミリーのお母さんと娘さん(ユウコ)に付き合っ貰い、船橋の花火大会にも行き大変感動しましたがもっとも多くのことがございました。

この5週間の日本滞在中私は素晴らしい多くのものを身を以て体験しましたが私は何時までもこの思い出を持ち続ける積もりです。

私は美しい日本国ですべてが楽しいもので私にとっては最高でした。特に最高の体験は日本の生活習慣、教育等でした。この素晴らしい私の日本での体験を私の家族や友人達に日本についての話の中で強調して話す積もりです。

私の夢であった日本へ来る事を実現して下さいましたライオンズの方々やホスト家庭の方々に心から御礼申し上げます。

是非、この次は私の国ベルギーにホスト家庭や日本の友達が来られるのを待ち望んでいます。

私にこの様な素晴らしい、偉大な経験をさせて下さった茂原長生LCや鎌ヶ谷LCのメンバーの方々に御礼を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。

## 来日生、ベルギー

Belgium  
BJ-14 Nicolas DEFOSSEZ

私は、今回のすばらしい日本旅行に対し、ライオンズクラブの皆様へ感謝しております。日本で過ごした事ほど素敵で、貴重な体験でした。

私は、日本の親切な家族と過ごすことができました。

又、日本の習慣を知る事ができ、日本食を食べる事もできました。

この旅行の間に、私は多くの人々と話をする事ができて、とてもうれしく思いました。

日本は、私の故郷(ベルギー)とは全く違うので、この6週間の日

本旅行は、とても良い経験になりました。

私は、日本の寺院や風景を見る事ができて、とても楽しかったです。

日本の田舎は、とても美しいと思います。

例えば、箱根や、浅草や、鎌倉のきれいな寺院、富士山や、福井、金沢、日光等にすばらしい景色……。そして、私は、多くのスポーツ(乗馬、テニス、水泳、ゴルフ、野球、ボウリング等)も、楽しみました。

東京ディズニーランドへ行った日もありました。

私は、日本で本当にすばらしい日々をおくらせて頂きました。ホストファミリーと、ライオンズクラブの皆様へ、心より感謝しております。

## 来日生、トルコ

Turkey  
TJ-2 Cigdem SERDAROGLU

YE生として私が日本に滞在した期間、私は生活様式の異なった経験をして参りました。私が税関を出た時予想外の歓迎をホストクラブのメンバーから受けている色々な角度からしきりに写真を撮られとても心温いもてなして下さるか私が22時間の搭乗で物凄く疲れていることを察してほしいと願いました。私が成田空港を出た時猛暑と湿度の高い気候に大変なショックを感じました。でも嬉しいことに日本では何処でもエアコンがあり助かりました。第一ホスト家庭は古田先生の家庭でしたが古田先生には私の病気の治療で大変お世話になりました。古田夫人は私を理解してくださるために彼女の最善を私に尽くして下さる努力をしてくれたと思っております。とても心の優しい方でした。一方、古田先生は決して感情を表すことがありませんでしたがいい方で、しかもタフで逞しい人でした。古田家に滞在中私は山口さんという婦人に合いました。彼女の援助はお金で買えるものではありませんでした。

私達は直ぐに友達となり彼女は私が大変な厳しい予定や郵便物の処理で頭を抱えていると助言をしてくれ、事態を好転させてくれました。併し全体の子定表はぎっしりと詰まっています。私の初日位は休養の為に空けていて貰いたかったと思っています。私が体験したすべてのことは楽しかったと思っています。或る旅行では英語の話せる人に付き添われてすべての事を説明したことが本当に楽しかったことの一つです。概して親切で心温かい人達が彼等の気持を表現できないのに気付いて、申し訳ないとおもう丈でした。

最初の食事は味噌汁と御飯が朝食に出されましたが私にとっては最悪でした。併し今は日本食を食べています。特にしゃぶしゃぶと天婦羅が大好きです。箸も上手に使えるようになりました。私が帰国してからも箸を使うようにしたいと思っています。

ここで私が体験したことの一つですが、日本の人達はあまりにも多くの伝統や習慣にしばられていると思います。一部は良いこ

とだと思いますがそうでない伝統や習慣があると私は思います。すべてに一応の制限があってもよいと思うのです。古きを守れというのですが古いという丈で生きてはいけません。ですから日本人は社会的立場に立って表現法についての英語のガイドブックを読むべきです。モダン(現代的)である事は、ただ単にテクノロジーのリーダーになるという事です。

それから私は第二ホスト家庭の安保さん宅に移りました。最初安保さんの可愛らしい娘さんそのみと、二人の元気のいいお子さんに会ったのは古田家のバーベキューパーティーの時でした。日が経つにつれ私は素晴らしい毎日を過ごしているのだなあということが分かって参りました。といえますのは私は安保家のお客ではなく家族の一員として扱って貰い、料理や洗濯もさせて貰ったことを今、感謝しています。私はあたくも安保さんの娘のように思えるようになり更に娘さんの「そのみ」の女の子であると思ったことさへもあります。私が病気でしたから、何時もそのみは私に気を遣ってくれよく面倒を見てくれましたので私の母のように思えてなりませんでした。

またある時はその様な扱いをうけている時、お友達のように感じた時もありました。教えて私が云えることは、そのみのこのような温かい待遇は私の家であつて両親からも受けたことがありませんでした。また忘れることが出来ないことは英語もよく話せない木村夫妻が観光や買物等に連れて行って下さり大変親切にして頂いたことです。親切にして下さった方や幾つかの家庭を見て感じたことはそれぞれに皆、生活習慣や考え方が異なっているという気が付きました。関東と関西は区別できませんが万事を通じて私は千葉県が恋しいと思います。飯え、ご飯と味噌汁の朝食で私が当惑しても、私に親切にしてくれたすべての人達のことを思うとはっきり云えるのです。その受けた行為が私に安らぎと安心感を与えてくれたからです。

また当地のライオンズクラブで受けたご好意を忘れることは無いでしょう。私はこのすべての良き思い出を持って帰国することを申し上げたいと思っています。レオについても帰りましたらライオンズクラブやその家族の方々に体験した詳細を報告いたします。最後に、次回のYE生が私の受けたような素晴らしい待遇と体験出来ることを期待しております。(注)腎疾患(ネフロー

ぜ)の為、古田先生等に治療を受けていたが本人の希望により8月20日

帰国を短縮して8月3日、複合地区窓口の許可を得て帰国させた。

## Cigdem Serdarogluの ホストファミリーとして

古田正武 (八千代東LC)

温かい人柄で、愛らしいCigdemと知り合ってとても良かったが、細かい所まで理解し合う為には英会話が達者な方がホストファミリーになる方が良いと思う。

お互いに不安と緊張の連続であった。

また自国を出発する前に入念な健康診断をして、必要なデーターや薬を持参すべきである。

我々も過密スケジュールに気をつけて、学生の希望を大いに取り入れる必要があった。

最後に、ほとんど英会話の出来ない私共に多大なお力添えを下された隣家の山口寛子さんは早朝・深夜にもかかわらず、私共とCigdemとの間の細かい打ち合わせ等に心をくわいて戴き、



例会でも通訳までお願いしました。この様に山口さんの存在なくして、私共ホストファミリーとしてのお役を全く出来なかったであろう事を御報告しますと共に、多くの八千代東LCのメンバーの方々の御協力を戴いた事に対して感謝しております。

## マケドニアからのYE生

野田ライオンズクラブ

アロー!ドボルダン、ファクシミリチェンジプリーズ!!こんな電話を何度掛けた事でしょう。今回旧ユーゴスラビアの南端の独立国、マケドニアからのYE生受け入れは、当クラブメンバー2人が、63年4月に、マケドニアの南の町、ゲブゲリアに行き、約一週間マケドニアの各地を見て、是非、こんな国の若い人に日本を見てもらい、これからという国造りの役に立てればと、高校の先生に打診し、校長先生も市長さんも是非とのこと帰国し、クラブのYE委員会にて計画しました。まず、LCのYE生用のアプリケーションフォームを送り、写真付で返送されたのが94年2月で、当クラブ受け入れ家庭の用紙に写真を付けて送ったのが、5月になってしまいました。その間に問い合わせや、エアチケットの手配が一番大変でした。銀行にて送金手続きをしたところ、現在お受けしても、相手の国情が良くないので、いつ着くかわからないとの事、どうしようかと困っている時に、在日マケドニア人が帰国するという話を聞き、その人に持って行ってもらいました。又チケットの予約も中々大変でした。我々としては、出来ればモスクワで一泊しない便をと思いましたが、これも何とかクリアしました。手紙のやり取りでは時間がかかるので、始めに書いたようなFAXで連絡



し合いました。

7月5日～8月4日の滞在でしたが、17才の若い娘さんは、初めて見る日本そして野田の町は素晴らしいと、あれもこれもが初体験の二人は目を輝かしていました。日本でのいろいろな体験を生かして、国際人として活躍して行ってほしいと思います。そして本当の平和が一日も早くマケドニアに根づく事を祈って止みません。

今回のYEのスペシャルが何とか実行できましたのも、地区YE委員のL、松川、L、石和田のご協力と、スコピエ在住のカズさんそして名古屋のゾランさんのおかげでした。毎年、キャビネットのYE委員会の皆様のご苦勞が良くわかりました。

# マレーシア・シンガポール LC 交流訪問報告

大網白里LC.会長 L 錦織良治

11月19日より24日までマレーシア・シンガポールへ国際交流の一環としてメンバー17名で友好訪問して参りました。

マレーシアのクアラランプール空港でラウブLCメンバーの盛大な出迎えをうけ歓迎パーティをうけました。

翌日ラウブLCとの合同医療アクトを行い大変喜ばれ老人ホームへの金銭アクトも行いました。

ドクター、ラガバン氏のインドカレー風昼食をご馳走になり、食後ラウブLCとのゴルフ交流がスコールに見舞われず濡れの中で行いましたが、その夜のデナーパーティが大変盛会に前会長ジェフリー氏宅でのガーデンパーティとなり大変盛会でした。

ラウブLCのメンバーも30名位出席され交換例会を夜更けまで行いました。

翌日、クアラランプールに返りシーパークLCとのゴルフ交流を行い、またスコールに見舞われてしまいました。工業貿易大臣と一緒にプレーして頂きトロピカーナCCの特別室で歓待を受けました。

クラブメンバーも多数出席されリジョン・チェアマン、ゾーン・チェアマンにも最後まで接待をしていただきました。豪華な食事にカラオケが入り国際交流にふさわしい盛り上がりでした。

マレーシアとの交流も終わり一路シンガポールへ、そこでやっとネスと合同の観光が一日できました。

翌日、シンガポールLCのリジョン・チェアマン、ゾーン・チェアマン他4名の歓迎を受けゴルフ交流を行いました。

シンガポールの港から船で40分インドネシアのバッドム島へ景色もコースも良く素晴らしい一日となりました。

各ライオンズメンバーには大変お忙しいところ心暖まる一方ならぬお世話をして頂きました。

YE受け入れからの交流が発展しての今回の訪問で、今後もYEを通して交流を深めたいと考えます。今回の旅行は合同アクトとしてのヘルシープロジェクト、3クラブとのゴルフ交流、合同の例会、大臣の出席によるデナーパーティ、それに観光と多忙なスケジュールでしたが、国境をこえ海外のライオンズマンとの交流を深めささやかながらも、国際親善に役立ったのではと考えます。

## 献眼登録 キャンペーン

アイバンク協会10周年のホルダーを  
ご希望のクラブはアイバンクまでお電話下さい。

昭和60年5月千葉県アイバンク協会が誕生して以来、ライオンズクラブ国際協会333-C地区各ライオンズクラブでは献眼登録・ACT資金等強力に支援しております。

平成7年には10周年を迎え、「アイバンク協会10周年のホルダー」を、アイバンク協会から献眼登録キャンペーンの粗品(有料)の一つとしてご利用頂く様一層のご協力をお願い致します。

ご希望のクラブは、アイバンク協会までお電話下さい。

(連絡先) (財) 千葉県アイバンク協会

千葉大学眼科教室内

☎043-222-6803



## 編集後記

編集割付作業時、予定のページ数におさまるかどうか、決断力のいる場面です。

本号では、沼田県知事と江畑ガバナーの新春対談の他、知らせなければならぬ多くの原稿の編集となりました。1号が64ページ、2号・3号は40ページ、4号から6号は32ページ程度で発行していきたいと思えます。

東南アジアフォーラムが、少ししか掲載できなかったのが心残りです。

十分な原稿量は日頃のライオンズ活動の活発な証左、4号に向けて限られた予算を頭に入れながら、より一層、内容の強化を図ってまいります。

地区PR情報委員長L. 椎名英夫



## 333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、  
その崇高な精神を信奉し、  
会員である誇りと自覚をもって、  
ライオンズム永遠の発展に寄与するため、  
会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、  
その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげよう。

### ライオンズクラブの目的

- 世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

### ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確認すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私材を借しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

あなたをお待ちするアメニティスペース。

素敵なカーライフお届けします。



写真はTOYOTA ZAP(浦安市)の店内です。



## トヨタ勝又ワイルド

セルシオ・ソアラ・マークII・エクシブ・コロナ・カルティナ・コルサ・サイノス・ハイラックスサーフ・トヨエース・ハイエース

### 千葉トヨペット

千葉市美浜区稲毛海岸4-5-1 ☎043-241-1181(大代)

アリスト・クレスタ・セフター・ビスタ・カレン・MR2・サイノス・ターセル・セラ・ハイエース・ランドクルーザープラド

### トヨタビスタ北千葉

千葉市美浜区若葉2-2 ☎043-276-0111(大代)

ウインタム・セフター・カムリ・スーフラ・セリカ・カローラ・セレス・カローラII・RAV4-L・エスティマ・ルシータ・タウンエース・カローラワゴン

### トヨタカローラ千葉

千葉市美浜区幸町1-6-3 ☎043-241-9111(大代)

モンテオ・トラス・マスタング・フロフ・エクスプローラ

### フォード千葉

千葉市美浜区新港57 ☎043-242-5611(大代)